

# 第4回 沖縄市交通拠点まちづくり検討委員会

日時：2026年1月27日（火）10:00～12:00

場所：沖縄商工会議所 ホール

## 次 第

### 1. 開会

### 2. 報告

1) 前回議事要旨について

2) 令和7年度取組内容について

### 3. 議事

1) 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（案）について

2) 今後のスケジュールについて

### 4. 閉会

---

## ○配布資料

- ・ 前回議事要旨 …………… 資料1
- ・ 令和7年度取組内容 …………… 資料2
- ・ 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（案）概要版 …………… 資料3
- ・ 今後のスケジュールについて …………… 資料4
- ・ 沖縄市交通拠点まちづくり検討委員会設置要綱 …………… 参考資料1
- ・ 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（案） …………… 参考資料2

## 交通拠点整備基本計画検討業務

## 第 3 回 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画検討委員会

日時：令和 7 年 10 月 2 日（木）15：00～17：00

場所：沖縄こどもの国 チルドレンズセンター 2 階

1. 開会
2. 議題 1) 設置要綱について

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
沖縄市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置要綱の別表の変更を行った。</li> <li>・ 委員の役職変更、新たな委員の任命・追加等である。この設置要綱について、ご意見はあるか。</li> </ul>	(一同) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 異議なし。</li> </ul>

3. 報告 1) 前回議事要旨

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
沖縄県 バス協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回の趣旨は、バスタ整備はうるま方面だけでなく反対側（那覇方面）も含め、バス停全体を一体的に国が整備した方が良いという考えである。沖縄市として一体的な整備を国に強く要望してほしい。</li> </ul>	(事務局) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、国と連携していく。</li> </ul>

- 報告 2) 令和 7 年度取組内容について

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
合同会社 イドムス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実証実験で講演会・ワークショップが実施されているが、実施内容と検証結果を教えてほしい。</li> <li>・ 実証実験で空地等を活用した広場の実験において、実験場所は地権者に了承済みか。</li> </ul>	(事務局) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後ご報告させて頂く。 (令和 7 年度取組みにて報告：P13～27、P29、31～35)</li> <li>・ 国道拡幅の事業用地及び残地（地権者の了承済み）を利用して実施した。 (令和 7 年度取組みにて報告：P13)</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
中の町 自治会	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体の計画で、基本計画はどの位置なのか。また、基本計画を策定した後について教えてほしい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画は、基本構想の内容を実現していくために必要な施策を検討し、とりまとめたもの。基本計画を策定することで、施策や役割等が定まり、事業が分かりやすくなる。</li> </ul> <p>(委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>構想はイメージに過ぎないが、基本計画はそれを実現するための方法（法律・制度・技術など）となる。</li> </ul>
合同会社 イダムス	<ul style="list-style-type: none"> <li>連合会では補助金を受けて、14年前から無料駐車券を配布してきたが、本年度で終了する。今後、無料駐車券を配布する予定があるのか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今回は駐車券の配布ではなく、既存駐車場を整理し、バスタとの連携可能性を模索する。</li> </ul> <p>(令和7年度取組みにて報告:P30)</p>

報告 3) 沖縄市交通拠点まちづくり基本計画（素案）について

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
沖縄県 バス協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄市の計画では、バスタ整備を、上り線と下り線を一体に整備するものとして記載してほしい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バスタ区域は現在検討中のため、「イメージ」と記載しており、引き続き国と連携しながら検討していく。</li> </ul> <p>(南部国道事務所)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄市のまちづくりと連携して進めている。必要な機能については、関係者にヒアリングを実施し、将来を見据えた議論を行っている。確定した配置計画をお示しできないが、連携して進めているため、ご理解をいただきたい。</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
南部国道事務所	<ul style="list-style-type: none"> <li>「多様な文化との連携発信機能」と「スポーツ交流機能」については、これらをバスタ内で機能を持たせるのか、それともバスタを含む周辺のまちで機能させるのか、考えを教えてください。最終的には役割分担や予算の事になるため、それを意識しながら進めていきたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コザ運動公園（沖縄アリーナ含む）や沖縄こどもの国などとバスタ中でも何か連携できればと考えている。具体的事項は今後、幅広く検討していきたい。</li> </ul>
胡屋大通り会	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度で基本計画を策定することだが、沖縄市としては、国道330号の両側にバスタ事業があり、進めていくという認識か。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄市としては、基本構想の段階ではあるが両側整備のイメージである。</li> </ul>
埼玉大学大学院理工学研究科	<ul style="list-style-type: none"> <li>単なる交通の施設ではなく、胡屋地区を沖縄市及び中部都市圏の拠点として中心性を高めていく取り組みが重要。</li> <li>基本計画は交通施策中心だが、市役所の各部署と連携し、公共施設等総合管理計画や立地適正化計画を活用し公共施設の誘導を図り、商工部局と連携し民間の力を活かした賑わい創出を推進することが重要。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ご意見を踏まえ、今後の課題として明記する。</li> <li>今後、立地適正化計画、ウォークブル推進計画、(仮)都市再生整備計画などの策定を想定しており、庁内の連携も踏まえながら進めていきたい。</li> </ul>
埼玉大学大学院理工学研究科	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の進め方として、交通施設の必要機能と関係者（国、市役所、地元）の役割を検討するが、役割分担を過度に意識せず、明確な機能は事前決定し、曖昧なものは必要性を合意の上、後日調整など柔軟な整理の仕方が必要ではないか。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ご意見を踏まえ、各施策を進めるにあたり、詳細の役割等を調整しながら柔軟に対応していくこととしたい。</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
<p>沖縄市 社会福祉 協議会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 「地域連携・訓練体制」では、消防団などの追加を提案したい。</li> <li>▪ 「多様な移動手段への対応」では、福祉・介護関連の移動車両の環境の検討を希望する。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 消防団などの自主防災組織は「地域」(住民)の役割として整理したい。</li> <li>▪ 福祉車両については、現在国土交通省で特定車両の追加が検討されており、状況を踏まえながら検討する必要がある。</li> </ul>
<p>センター 自治会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ センター自治会は、本年度から「自主防災・防犯組織」を立ち上げ、9月23日に公園で消火器体験会を実施し、9～11月に防災講座を3回開催して地域連携による防災意識向上を図っている。センター街公園には防災対応の発電機と蓄電池を設置予定。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 防災機能の向上の取組みとして、地域との連携は必要不可欠であると考えており、連携施策を検討したい。</li> </ul>
<p>合同会社 イドムス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ バスタ事業とそれ以外の事業が存在する。関係者への説明は基本計画策定後に行うのがよいか。</li> <li>▪ 街中に、情報伝達拠点がなく、バスタ事業開始までの期間、どのように情報を伝えるべきか。行政に検討をお願いしたい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 市基本構想や本日の資料は公開されており、その内容は共有可能である。</li> <li>▪ 試験的に、まちなか交流拠点として、空き店舗を活用した情報発信の場を考えている。 (令和7年度取組みにて報告:P29)</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 沖縄の都市計画では、県外事例のような広い空間のイメージの実現可能性が課題で、狭く迷路のような道(すーじー)などを活かす必要がある。地元住民と協力し、沖縄市の中心地や中部拠点象徴する広場や拠点となるよう具体的に計画することが重要。</li> <li>▪ 立体交差(歩行者デッキ)による接続や広場での楽しみ方を考慮すべき。また駐車場確保の難しさから、国道下や沿道への地下駐車場建設ができれば、歩行者デッキ、地下駐車場、ショッピングモールの導入による活性化が進み、中部圏域における求心力が高まるのではないか。</li> <li>▪ 立体的な視点をもって実現可能性を向上させ、沖縄全体の交流拠点を相互に配置する戦略的な計画を進めてほしい。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ご意見を踏まえ、ウォークブルエリアの検討において、交通結節点周辺の公園やゲート通り・パークアベニュー・すーじー等が連続するパブリックスペースの配置方針について整理した。(資料3)</li> <li>• 今回、立体横断施設や交通広場のイメージを整理した。(資料3)</li> <li>• 本市の交通拠点まちづくりは、第4回中南部都市圏都市交通マスタープランにおける「都市圏の南北骨格軸」(拠点都市間)の形成を担うものと認識しており、関連計画として整理した。(資料3)</li> </ul>
合同会社 イドムス	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 平成28年に都市計画決定したパークアベニュー双方向通行化から約10年で実施されているが、現在はウォークブル(歩行者中心の街づくり)の概念があり、時代と共に変化している。</li> </ul>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 商店街を中心にゲート通りやパークアベニューなどを含む範囲をウォークブルエリアとして設定しており、将来の双方向化を見据えた道路空間の利活用(交通規制等による歩行空間創出など)についても検討していきたい。</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
琉球大学 工学部 工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ まちの変化に柔軟に対応するため、事前情報伝達機能を含むアーバンデザインセンター（UDC）の設立が重要。</li> <li>▪ 21世紀ビジョンで官民学連携による拠点づくりが記載されているため、これを推進すべきである。</li> </ul>	（事務局） <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 今年度は、まちなか交流拠点の実証実験を行っているところであり、地域との接点となるような取り組みにつなげていきたいと考えている。 （令和7年度取組みで報告：P29）</li> <li>▪ 今年度琉球大学及び東京大学において、胡屋バスタに関連する授業や研究を実施していただいたところであり、今後の学との連携も強化していきたいと考えている。</li> </ul>
琉球大学 工学部 工学科	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 生活道路対策について、通学路の要素が必要ではないか。また、無電柱化を推進することで道路空間が広がり、機能の活用がしやすくなるという点も考える必要がある。</li> <li>▪ 県観光危機管理実行計画では、帰宅支援のための拠点づくりの議論がおこなわれているため、防災機能に、観光（客）を記載してもらいたい。</li> <li>▪ 「イメージ図」は現時点の案なので、デッキで繋いだ図などを提案してみてもよいのでは。</li> <li>▪ 資料4の役割分担（案）にバス事業者も必要ではないか。基幹バスやバス停のグレードアップなど、バス事業者が協力しやすい事項を含めるとよい。</li> </ul>	（事務局） <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 通学路を中心とした対策として整理した。無電柱化については、歩きやすい道路空間づくりとして整理した。</li> <li>▪ 地域住民や観光客等を対象として整理を行った。</li> <li>▪ 今回、立体横断施設や交通広場のイメージを整理した。（資料3）</li> <li>▪ 今回、役割分担（案）に追加した。（資料3）</li> </ul>

発言者	主な質疑・意見	回答・対応等
内閣府 沖縄総合 事務局 開発建設課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ウォーカーブル事業は、大都市や大企業のある場所のように人通りが多いエリアでは計画が立てやすいが、地方都市では取り組みが点在しがちなので、線をつなげる視点をもち、成功事例を参考にすることが重要。また、商店街や住民と連携した一体的な取り組みを進めてほしい。</li> </ul>	(事務局) <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 今年度においては、交通結節点を中心に周辺街路や公園等と連携したパブリックスペースの方向性を整理したところであり、ご意見を参考に今後のウォーカーブル推進計画の検討に活かしていきたい。</li> </ul>

## 第4回 沖繩市交通拠点まちづくり検討委員会

# 令和7年度取組内容

令和8年1月  
沖繩市 建設部 都市整備室 都市交通担当

1. 沖縄市交通拠点整備基本構想策定後の取組状況
2. 令和7年度の取組み内容

# 1.基本構想策定後の取組状況

- 基本構想策定以降、令和6年度から沖繩市交通拠点まちづくり基本計画の策定に向けて、まちづくり検討委員会、検討委員会の部会となる地域デザイン検討部会を重ね、地域のまちづくりの視点で議論を重ねている。
- 平行して、機運醸成の取組みとして、地域住民などを対象とした講演会・まちあるき・WSの取組みも進めるなかで意見収集を行うとともに、大学研究機関等による講演会、調査研究、特別講義などの活動を活用して様々な知見も収集している。

## 沖繩市交通拠点整備基本構想(R6.6)

「沖繩市交通拠点まちづくり」について、様々な観点から検討及び協議

交通拠点が地域に根ざした拠点となるよう、歴史、文化、生活などの多様な視点から機能やデザインを検討

機運醸成および合意形成手法

大学研究機関等の活動

R6年度

### R6第1回まちづくり検討委員会

(R6.10)

- 交通拠点まちづくりの検討の概要
- 社会実験

### 地域デザイン検討部会準備会

(R6.11)

### 計画・交通研究会

#### 主催講演会(R6.7)

- 講演会、WS

### R6第2回まちづくり検討委員会

(R7.3)

- 交通拠点まちづくり基本計画(骨子)

### R6第1回地域デザイン検討部会

(R7.1)

- 地域デザインの展開方針(素案)
- デザインコード(素案)

### 講演会・まちあるき・WS(R7.2)

- 居心地のよいまちづくりの取組みについて講演とWS

### 東京大学研究発表会(R7.3)

R7年度

### R7第3回まちづくり検討委員会

(R7.10)

- 交通拠点まちづくり基本計画(素案)
- まちづくりから考える交通結節点に必要な機能(素案)
- 実証実験(案)

### R7第2回地域デザイン検討部会

(R7.10)

- デザイン検討の考え方
- パブリックスペースの方向性(素案)
- 実験計画(案)
- まちづくりから考える交通結節点に必要な機能(素案)

### 講演会・まちあるき・WS(R7.9)

- 広場を考える 講演会・まちあるき・WS

### 琉球大学特別講義(R7.8)

- 座学、まちあるき、現地調査、ワークショップ

### R8第4回まちづくり検討委員会

(R8.1)

- 沖繩市交通拠点まちづくり基本計画(案)

### R8第3回地域デザイン検討部会

(R8.2)

### 沖繩市交通拠点まちづくりに関する住民意向調査PI(R7.11)

- 

### R8第5回まちづくり検討委員会

(R8.3)

- 沖繩市交通拠点まちづくり基本計画(案)

### パブリックコメント(R8.1~2)

R8年度

## 沖繩市交通拠点まちづくり基本計画策定(予定)

計画の推進に向けた継続的な取組み

### (1)交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

- 1)デザイン検討部会の開催
- 2)交流機能の検討
- 3)まちなか交流拠点の検討
- 4)駐車場機能の検討

### (2)機運醸成及び合意形成手法の検討・実施

- 1)講演会
- 2)ワークショップ
- 3)住民等意向調査

### (3)その他

## (1)交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

### 1) デザイン検討部会の開催

- まちなか交流拠点も含めた地域のデザイン全般について、胡屋・中央地区の交通拠点が地域に根差した拠点となるよう、地域の歴史・文化・生活等の多様な視点を踏まえた機能やデザインを検討し、沖縄市交通拠点まちづくり基本計画の検討に活用する。

### デザイン部会の構成員

項目	氏名	備考
有識者	羽藤 英二 東京大学教授	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全国のバスタ事例、デザインセンター等に係られている知見を踏まえ、バスタのデザイン、あり方について意見をいただく。</li> <li>• 学生も随行として参加。</li> </ul>
	石垣 彩音 氏 (ファシリテーター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 沖縄の交通まちづくりの観点から、バスタのデザイン、在り方について意見をいただく。</li> </ul>
	照屋 幹夫 氏 (NPOコザまち社中)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 沖縄の交通まちづくりの観点から、バスタのデザイン、在り方について意見をいただく。</li> </ul>
地域	神山 茂 氏 (パークアベニュー通り)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 沖縄のクリエイター視点でのバスタのデザイン、あり方について意見をいただく。</li> </ul>
	恩河 尚 氏 (ヒストリート館長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 胡屋・中央地区の歴史・文化を踏まえ、意見をいただく。</li> </ul>
	松田 健治 氏 (センター自治会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 沖縄市の地域に即した視点でのバスタのデザイン、有り方について意見をいただく。</li> </ul>
	島袋 恭治 氏 (胡屋自治会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 沖縄市の地域に即した視点でのバスタのデザイン、有り方について意見をいただく</li> </ul>
	普久原 真吾 氏 (中の町自治会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 沖縄市の地域に即した視点でのバスタのデザイン、有り方について意見をいただく</li> </ul>
事務局	沖縄市 建設部 都市交通担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 頂いた意見を事務局案としてとりまとめ。</li> </ul>

## 2. 令和7年度の取組み内容

### (1) 交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

#### 1) 地域デザイン部会の開催

- 令和6年度では、空間デザインの根幹となる視点の言語化行いデザインコート（素案）を検討。
- 今後各種取組への反映に向けて、今年度では、デザインコードの更新を行うとともに、次のステップである**イメージ化の検討を行う。**

#### 第2回地域デザイン部会 実施日 令和7年10月1日（火）

##### 1. 議題

- 1) 地域デザイン部会設置要綱（案）の改定について

##### 2. 報告

- 1) 今年度の展開方針（案）について
- 2) まちづくり基本計画（まちづくりから考える必要機能）（素案）
- 3) デザインコードを踏まえたデザイン検討の考え方について
- 4) バスタ周辺エリアのパブリックスペースの方向性（素案）について
- 5) 各種実験計画（案）について（広場、交流拠点等）

##### 3. とりまとめ

##### 4. 閉会



#### 議論予定内容

- ・まちづくり基本計画の資料化（瓦版）
- ・パブリックスペースの表現内容と改善について
- ・各種実験の推進
- ・残地活用の連携戦略
- ・各委員の意見が反映したデザイン案の提示
- ・多様な意見を反映する慎重な進め方
- ・中部の拠点、防災、ネットワークなどのキーワード

#### 次回 第3回デザイン部会

令和8年2月18日（水）予定

# 2.令和7年度の取組み内容

## (1)交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

### 2) 交流機能の検討

#### ①パブリックスペース空間の調査

##### ■背景

- 交通結節点と周辺まちづくりと一体となった機能や空間の検討が必要
- 都市の拠点としてのパブリックスペースの創出が必要
- 交通結節点は、にぎわい・交流の拠点で、まち全体に開かれた機能が必要

##### ■目的

- 交通結節点を中心としたパブリックスペースの方向性を検討
- 調査結果を活用し、コンセプトや機能・規模、動線ネットワーク等を整理
- デザインコード等の要素を踏まえた検討

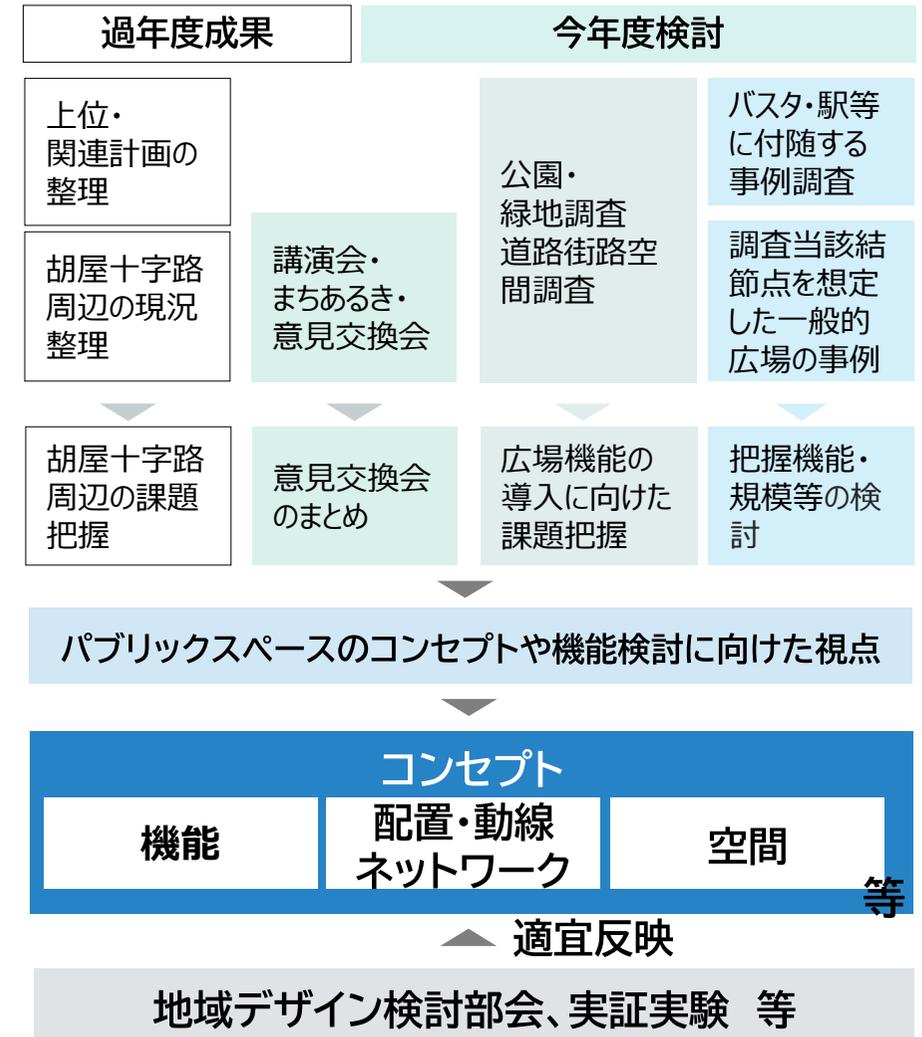
##### パブリックスペース：

- だれでも自由に使える、まちの共有の空間（公園、道路、結節点等）

##### 交通結節点を中心としたパブリックスペースの想定エリア：

- 交通結節点、基本計画のウォークブルエリア、隣接公園緑地、道路街路

#### ■検討項目・検討のフロー



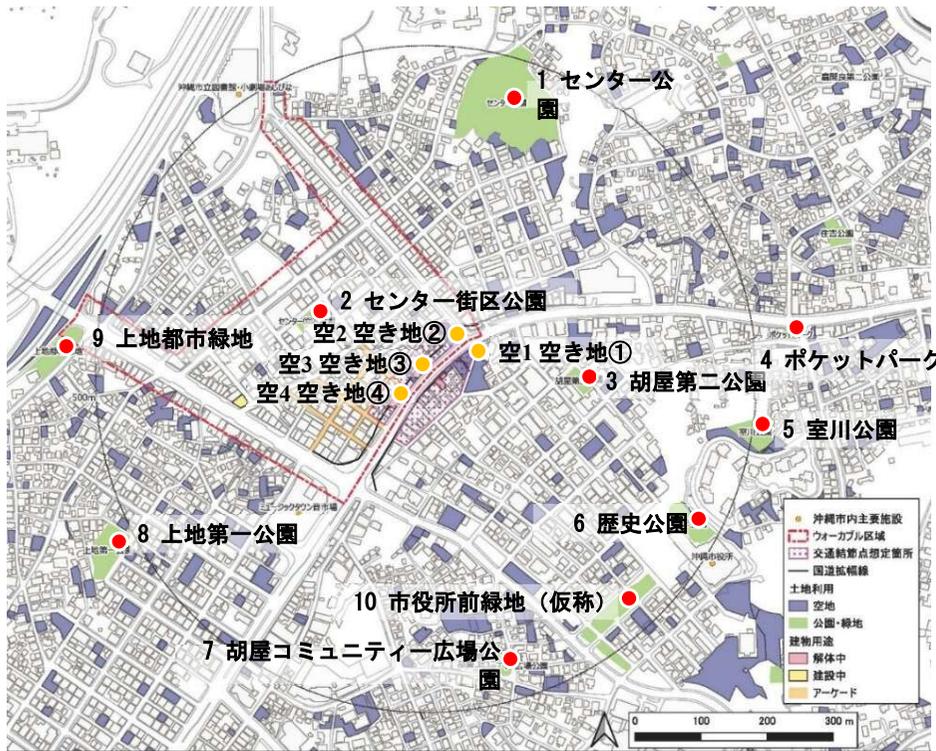
# 2.令和7年度の取組み内容

## (1)交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

### 2) 交流機能の検討

#### ①パブリックスペース空間の調査

##### ■調査箇所位置図(公園・緑地)



③胡屋第二公園



④ポケットパーク



⑤室川公園



⑥歴史公園



⑦胡屋コミュニティ広場公園



⑧上地第一公園



①センター公園



②センター街区公園



⑨上地都市緑地



⑩市役所前緑地 (仮称)

## (1)交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

### 2) 交流機能の検討

#### ①パブリックスペース空間の調査

##### ■課題(公園・緑地)



##### 【立地特性】

- 市街地の中心で、店舗が連なり人の往来が期待できる立地を最大限活かした空間創出・機能導入

##### 【位置付け・状況】

- いつでも(日常・イベント・災害時)活用可能な管理体制の構築
- 市街地の空間特性を活用し、周辺と連動して、賑わいと回遊性が向上する空間創出・機能導入

##### 【機能】

- 一時的な滞留を超え、日常時の多様な活動誘発、イベント活用、災害時活用など、多様な活用を可能にする空間創出・機能導入
- 公園・緑地の緑豊かな空間を継承し、交通結節点周辺にふさわしい景観と緑陰の創出
- 建物が密集した一番街商店街に隣接する広場として、防災機能の導入
- 人が集まる交通結節点として、回遊性の向上等を促進する空間創出・機能導入
- 周辺の公園・緑地との連携機能の導入



## (1) 交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

### 2) 交流機能の検討

#### ① パブリックスペース空間の調査

##### ■ 調査箇所位置図(道路・街路)



3 県道20号線(くすの木通り)



3 県道20号線(くすの木通り)



7 郵便局通り



4 パークアベニュー



4 パークアベニュー



7 郵便局通り



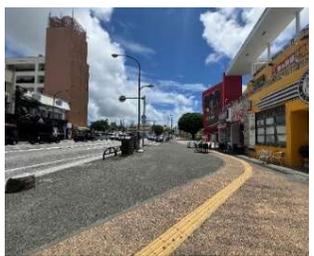
5 商店街側道路



5 商店街側道路



1 国道330号 胡屋十字路



2 県道20号線 (ゲート通り)



6 役所側道路



6 役所側道路

# 2. 令和7年度の取組み内容

## (1) 交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

### 2) 交流機能の検討

#### ① パブリックスペース空間の調査

##### ■ 課題(道路・街路)

##### 【立地特性】

- 市街地の中心で、店舗が連なり人の往来が期待できる立地を最大限活用し、全体のネットワークの機能強化をする道路街路空間の活用・機能導入
- 朝夕の日常使いを促進するため街路空間の創出・機能導入
- 商業エリアは活気ある機能の導入、住宅リアは静かな歩行空間の整備、機能の差別化
- 日常の多様な利用促進する道路空間機能の導入



##### 【機能】

- 日常の活動誘発、イベント活用、災害時用等、多様な活用を可能にする道路街路空間の創出・機能導入
- 緑豊かな空間を活用し、交通結節点周辺としてふさわしい景観と緑陰等の創出
- 日影、休憩場所等、回遊性の向上等を促進する道路街路空間の創出・機能導入



##### 【位置付け・状況】

- 人の移動を支えつつ、にぎわい・休憩・防災を担う多機能な路地も含めた回遊ネットワーク空間の創出・機能導入
- 日常の通勤通学や散策、イベント時の交流、防災時の避難・輸送路として柔軟に活用できる空間創出・機能導入
- 災害時における空間の活用

## (1) 交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

### 2) 交流機能の検討

#### ② パブリックスペース空間のコンセプトや機能の検討

- 「コンセプトや機能の検討に向けた視点の整理」を踏まえ、コンセプトと導入すべき機能等を整理した

■ コンセプト案 **マチガーきよてん** | まち全体に必要な機能や空間を満たし、水が湧くカーのように様々な人や活動が湧き出す拠点  
■ 他コンセプト案 ・コザマチガー マチガークロス マチガーの間 マチガーコア バスマチガー

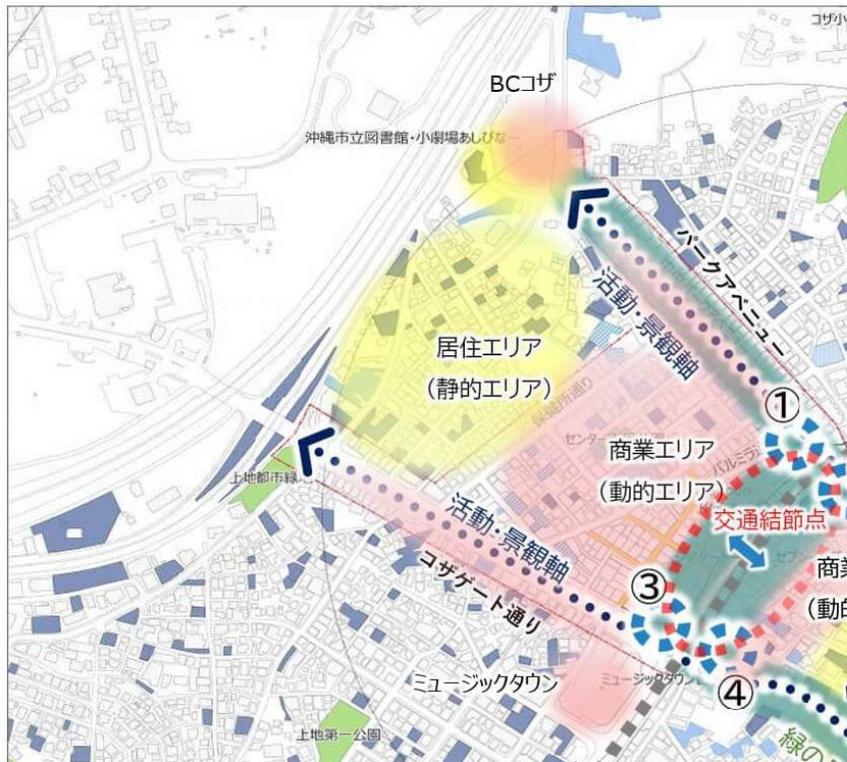


## (1) 交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

### 2) 交流機能の検討

#### ② パブリックスペース空間のコンセプトや機能の検討

- 配置方針・機能配置の検討をおこなった



**配置方針**

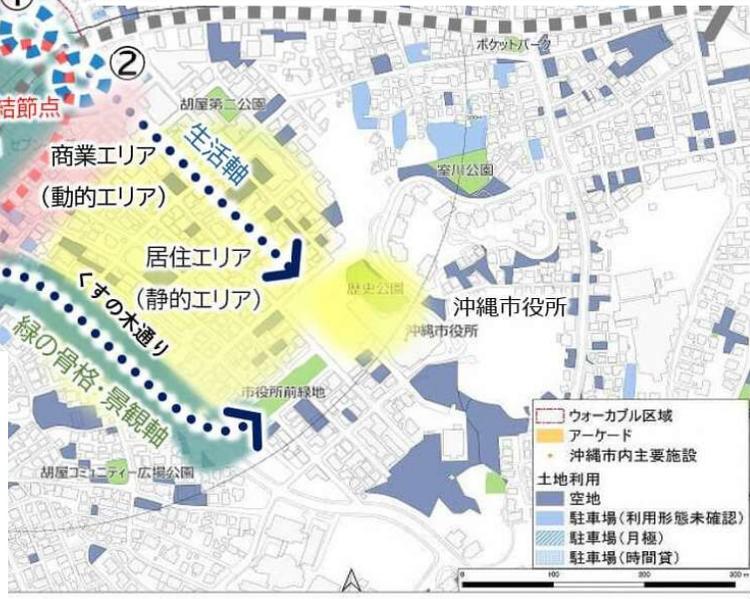
**パークアベニュー・コザゲート通りとの交差点・四つ角に配置**

- 活動・景観・生活軸を結び回遊性を高める配置
  - 交通結節点は、周辺の空間を結びつけ、回遊性を高める役割として、コザの活動・景観軸となっているパークアベニュー・コザゲート通り・くすの木通り等との交点に位置しているため、それぞれの接点となる空間を配置
  - ①は、パークアベニューと連続した空間として配置
  - ②は、将来的に市役所までつながる道路と連続した空間として配置
  - ③は、コザゲート通りやミュージックタウンの広場と連続した空間として配置
  - ④は、市役所前の広場・くすの木通りからと連続した空間として配置
- 緑の骨格・景観軸を形成する配置
  - コザの特徴のひとつであるみどり線をパークアベニューからくすの木通り・市役所前の広場までつなぐ役割として、現況のみどりを受け止め・強化する位置に配置
- 周辺を繋ぐネットワークの配置
  - 交通結節点と、周辺の公園緑地を結ぶ路地も含めた道路街路ネットワーク空間を構築するとともに、道路街路空間そのものにも滞在空間としての機能を構築

**機能配置の考え方**

**活動・景観軸に動的機能、生活軸、緑の骨格・景観軸に静的機能配置**

- 活動・景観軸には日常・イベント時等の活動に資する機能を配置
  - ①③には、日常時・イベント時間問わず賑わい等に資する広場や交流機能等をメインに配置(非常時には防災機能)
- 生活軸、緑の骨格・景観軸には落ち着いた空間を形成する機能を配置
  - ②④には、落ち着いた空間を形成する植栽や滞留機能等を配置(非常時には防災機能)



## (1)交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

### 2) 交流機能の検討

#### ③空地を活用した広場の検討

- 胡屋北交差点改良事業の進捗に伴う空地などを活用し、当該**エリアに必要とされる必要機能**の一つである**広場の在り方について実証実験をおこなった。**
- **休日昼間の賑わい創出**などの観点から、**2ケースの実証実験とした**
- **アクセス性・回遊性向上**などの観点から、「**空地を活用した広場の実験**」「**まちなか交流拠点**」、及び**周辺を巡るスタンプラリー**を併せて実施した

#### ケース1：令和7年11月22日（土）

#### 広場実証実験+スタンプラリー+地域イベント

(地域イベント：ミュージックマルシェ+沖縄国際カーニバル)

#### ケース2：令和7年11月23日（日）

#### 広場実証実験+スタンプラリー

#### その他：まちなか交流拠点

産学民の連携によるパネル展示を実施

※実験場所は道路拡幅事業用地と残地（地権者の了承済み）を利用し実施した。



## (1) 交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進 2) 交流機能の検討

### ③ 空地を活用した広場の検討

ケース1：令和7年11月22日 参加者 115人

ケース2：令和7年11月23日 参加者 54人



空き地の利活用



スタンプラリー



チラシ



スタンプラリー台紙/A4



掲示用パネル  
(空き地を使ってみたいですか?)

## (1)交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進 2) 交流機能の検討

### ③空地を活用した広場の検討

- 来街者・運営協力者・出展者へアンケートを実施した

#### 来街者アンケート結果

##### ■単純集計

空き地からコザを作ろう！ 来訪者アンケート

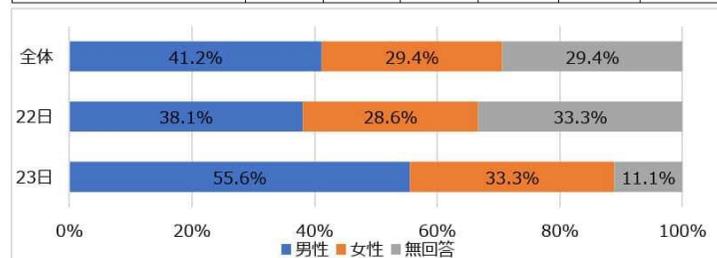
	全体	22日	23日
回答数	51	42	9

##### Q1. 回答者の方について教えてください（ひとつに○）

- ・性別は男性が41.2%、女性が29.4%。
- ・年代は30代が31.4%、次いで40代が21.6%と子育て世代が多く、その他の世代は10%台前半以下となっている。

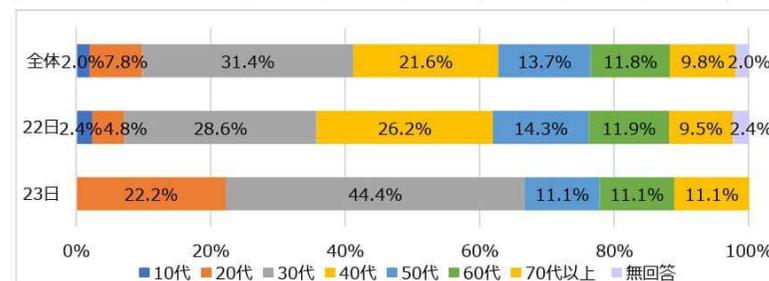
##### 性別

	全体	22日	23日	全体	22日	23日
男性	21	16	5	41.2%	38.1%	55.6%
女性	15	12	3	29.4%	28.6%	33.3%
無回答	15	14	1	29.4%	33.3%	11.1%
合計	51	42	9	100.0%	100.0%	100.0%



##### 年代

	全体	22日	23日	全体	22日	23日
10代	1	1	0	2.0%	2.4%	0.0%
20代	4	2	2	7.8%	4.8%	22.2%
30代	16	12	4	31.4%	28.6%	44.4%
40代	11	11	0	21.6%	26.2%	0.0%
50代	7	6	1	13.7%	14.3%	11.1%
60代	6	5	1	11.8%	11.9%	11.1%
70代以上	5	4	1	9.8%	9.5%	11.1%
無回答	1	1	0	2.0%	2.4%	0.0%
合計	51	42	9	100.0%	100.0%	100.0%



## (1)交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進 2) 交流機能の検討

### ③空地を活用した広場の検討

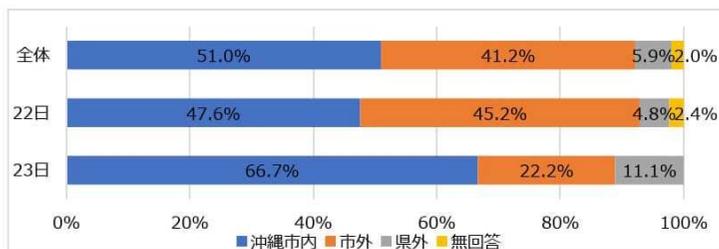
- 来街者・運営協力者・出展者へアンケートを実施した

#### 来街者アンケート結果

Q2. どちらから来ましたか (ひとつに○)

・市内からの来訪者が51.0%と最も多く、市外が41.2%、県外からは5.9%。

	全体	22日	23日	全体	22日	23日
沖縄市内	26	20	6	51.0%	47.6%	66.7%
市外	21	19	2	41.2%	45.2%	22.2%
県外	3	2	1	5.9%	4.8%	11.1%
無回答	1	1	0	2.0%	2.4%	0.0%
合計	51	42	9	100.0%	100.0%	100.0%



〈沖縄市〉

胡屋、上地、園田1丁目、中央2丁目、諸見里3丁目、知花5丁目、桃原1丁目、金川1丁目、与儀3丁目など

〈沖縄市以外〉

うるま市、北中、普天間市、那覇市、今帰仁村、宜野湾市 など

〈沖縄県以外〉

東京都、横浜市、広島県

Q3. どなたと来ましたか (ひとつに○)

※ひとつに○をつけてもらう設問だが、複数回答があったため、積み上げグラフで表現

・一人が22件と最も多く、家族(未就学)が13件、友達・パートナーが9件と続く。未就学と小学生以上を合わせた家族は19件と、一人(22件)に近い件数となっている。

	全体	22日	23日
家族(未就学)	13	8	5
家族(小学生以上)	6	4	2
友達・パートナー	9	9	0
仕事関係	1	1	0
一人	22	20	2
その他	0	0	0
無回答	1	1	0
合計	52	43	9



# 2.令和7年度の取組み内容

## (1)交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

### 2) 交流機能の検討

### ③空地を活用した広場の検討

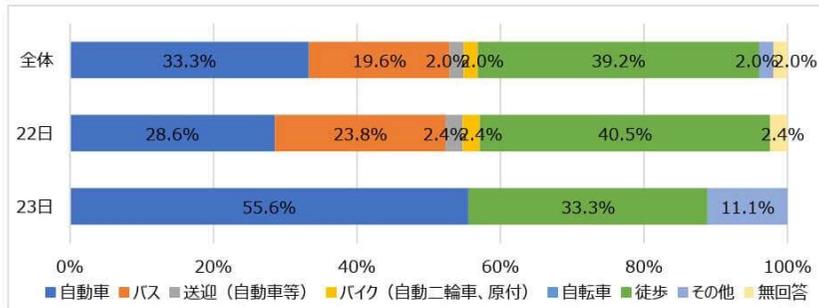
- 来街者・運営協力者・出展者へアンケートを実施した

#### 来街者アンケート結果

Q4. ここまでの主な交通手段を教えてください（ひとつに○）

・徒歩が最も多く39.2%、次いで自動車が33.3%、バスが19.6%と続く。50%近くが徒歩または公共交通（バス）で来場しており、自動車は全体の30%程度。

	全体	22日	23日	全体	22日	23日
自動車	17	12	5	33.3%	28.6%	55.6%
バス	10	10	0	19.6%	23.8%	0.0%
送迎（自動車等）	1	1	0	2.0%	2.4%	0.0%
バイク（自動二輪車、原付）	1	1	0	2.0%	2.4%	0.0%
自転車	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
徒歩	20	17	3	39.2%	40.5%	33.3%
その他	1	0	1	2.0%	0.0%	11.1%
無回答	1	1	0	2.0%	2.4%	0.0%
合計	51	42	9	100.0%	100.0%	100.0%



〈その他〉

那覇市内のバスセンターより

Q10. 空き地などを使った取組のうち、良かったものとその理由を教えてください（あてはまるもの全てに○）

・空き地の飲食・物販が28件と最も多く、スタンプラリーが11件、空き地の滞在・滞留空間が10件と続く。

	全体	22日	23日
空き地の飲食・物販	28	22	6
空き地の滞在・滞留空間	10	7	3
パネル展（まちなか交流拠点）	2	2	0
スタンプラリー	11	11	0
その他	0	0	0
無回答	12	10	2
合計	63	52	11



## (1)交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進 2) 交流機能の検討

### ③空地を活用した広場の検討

- 来街者・運営協力者・出展者へアンケートを実施した

#### 来街者アンケート結果

Q13. 今後、空き地などを使った取組であつたら良いもの・こと、試してみたいこと、アイデアを教えてください

・子どもの遊び場とマーケット・マルシェが最も多く4件、滞在・滞留空間、音楽・パフォーマンス、その他イベント・ブースが2件と続く。

	全体	22日	23日
滞在・滞留空間	2	2	0
子どもの遊び場	4	4	0
マーケット・マルシェ	4	3	1
音楽・パフォーマンス	2	1	1
その他イベント・ブース	2	1	1
スタンプラリー	1	1	0
その他	5	5	0
合計	20	17	3

〈その他〉  
 お手洗いが欲しい  
 むかしの一番にもどってほしい  
 空き地じゃなくなった方が良いのでは？  
 散髪屋さん  
 お酒飲み以外も楽しめる様にしてほしい



Q16. 自ら企画・運営及びイベント等の出店に関わりたいという方は、是非ご連絡先をお知らせください

・お名前・連絡先記載者数：4件  
 ⇒内、自ら企画・運営に関わりたい：2件  
 ⇒内、イベント等への出店：1件  
 ⇒内、その他(ボランティア清掃)：1件

Q17. その他、ご意見やご感想があれば教えてください

・ちょうど座りたいタイミングでイスとテーブルがあつたので良かったです！涼しくて休めました。  
 ・もっと国際カーニバルと連携してウォークラリーができればよかったです。  
 ・夜だけでなく、朝とか昼(特にランチタイム)に気軽にいれる飲食スタンドがあると良い。  
 ・歩くにつかれるので、休憩場所がもっとあるといい  
 ・こうした取り組みが広がるといいと思います。期待しています。  
 ・楽しかったです！

## (1)交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進 2) 交流機能の検討

### ③空地を活用した広場の検討

- 来街者・運営協力者・出展者へアンケートを実施した

#### 運営協力者・出展者アンケート結果

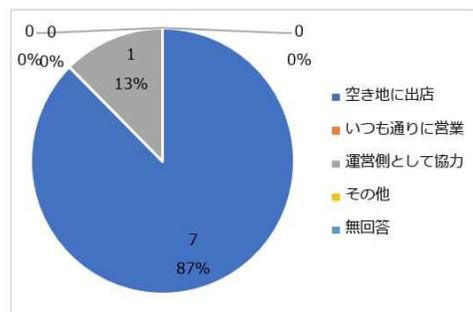
##### Q1. ご自身について

- 運営協力者1 合同会社 signals
- 飲食1 揚げパン・アルコール等販売
- 物販3 雑貨・衣類販売、植木販売、雑貨・アクセサリ販売
- 体験3 ネイル体験、マッサージ体験、ヒーリング体験

##### Q2. 今回関わった場所・出店した場所（あてはまるものに○）

・運営協力者1、空き地に出店した店舗7。

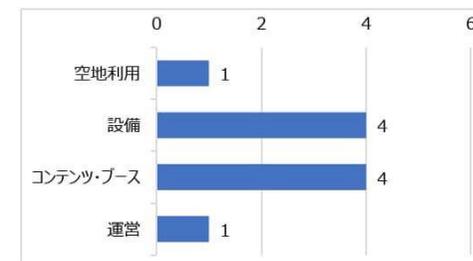
空き地に出店	7
いつも通りに営業	0
運営側として協力	1
その他	0
無回答	0
計	8



##### Q3. 当日の様子で、よかったものを教えてください（可能な限りいくつでも）

・設備、ブース・コンテンツに対する意見がそれぞれ4件と最も多く、次いで空地利用、運営に対する意見も1件みられた。

空地利用	1
設備	4
コンテンツ・ブース	4
運営	1
計	10



##### 〈意見〉

- ・空き地利用が良い。テントやテーブル、椅子の無料貸し出しがあって楽
- ・サポートしてくれる STAFF の皆さんの優しさ。テントや什器等の貸出、かなり助かります！！
- ・ネイルやマッサージ、まつりではない物が体験できる 等

## (1)交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

### 2) 交流機能の検討

### ③空地を活用した広場の検討

- 来街者・運営協力者・出展者へアンケートを実施した

#### 運営協力者・出展者アンケート結果

Q4. お客さんの声や反応で印象的だったものを教えてください（可能な限りいくつでも。肯定的、否定的なものどちらでも構いません。具体的なエピソードがあれば、添えていただくと幸いです）

・コザらしい取組であること、日かげや広さという空間に対する意見等、市の取組・運営に対する評価もみられた。

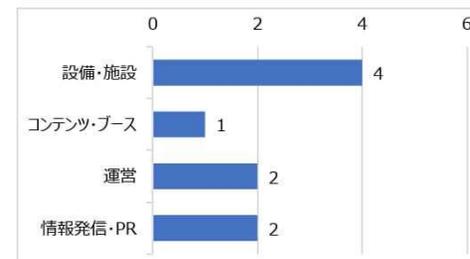
##### 〈意見〉

- ・ビールなど安く提供できた為、お客様が価格によるこんでいた
- ・コザならではの雰囲気、と言って頂きました。
- ・音、スピーカー等音楽（DJ等）がもっとあったらよいとの声がありました♪
- ・短時間でネイルができて嬉しい！こういう場所に出店されると（気軽にネイルができて）ありがたい！
- ・予想以上に来場者があった。日かげで過ごし安いとても良い広さでした。

Q5. 今回の取組のなかで、改善点や課題と感じたものを教えてください（企画や準備、環境、運営、イベント時間など何でも構いません）

・駐車場やのぼり、照明等、施設・設備に対する意見が4件と最も多く、実施の時間帯等の運営に対する意見が2件、情報発信・PRに対する意見が2件と続く。

設備・施設	4
コンテンツ・ブース	1
運営	2
情報発信・PR	2
計	9



##### 〈意見〉

- ・PR が少ない。出店者への呼びかけが足りない。駐車場がない。何の出店を募集しているか分かりにくかった。
- ・少しわかりにくい場所なので、反対からも見えやすいのぼりを持ってこようと思った
- ・来年もやるべき
- ・イベント時間は夕方～夜が KOZA には合っている。夜営業のお店を昼に活用するのはどうか
- ・子供向けのものもあれば良かった。少し暗くなってきた時は照明があったら良い 等

## (1)交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進 2) 交流機能の検討

### ③空地を活用した広場の検討

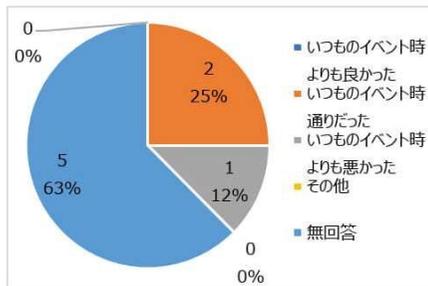
- 来街者・運営協力者・出展者へアンケートを実施した

#### 運営協力者・出展者アンケート結果

Q6. 売り上げについて（各日にちひとつに〇）

・いつものイベント通りだったが2件、いつものイベントより悪かったが1件。

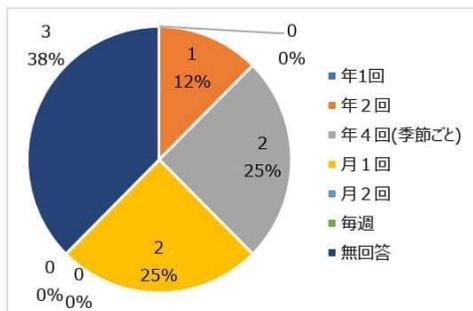
いつものイベント時よりも良かった	0
いつものイベント時通りだった	2
いつものイベント時よりも悪かった	1
その他	0
無回答	5
計	8



Q7. 空き地を使った取組の、年間の実施希望回数を教えてください。

・年1回から月1回の実施を望む意見がみられた。

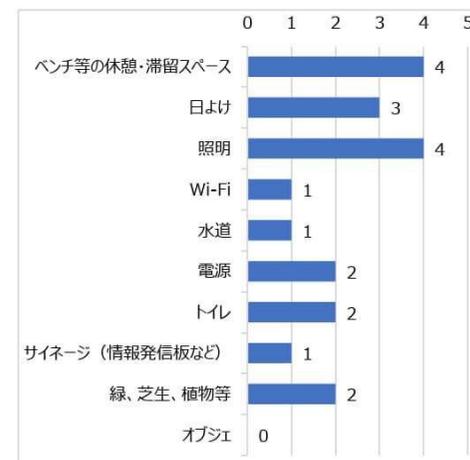
年1回	0
年2回	1
年4回(季節ごと)	2
月1回	2
月2回	0
毎週	0
無回答	3
計	8



Q8. 空き地を活用する際に、あった方がいい設備があれば教えてください。

・休憩や滞留スペース、照明に対する意見が4件と最も多く、次いで日よけが3件、電源、トイレ、緑・芝生・植物等が2件と続く。

ベンチ等の休憩・滞留スペース	4
日よけ	3
照明	4
Wi-Fi	1
水道	1
電源	2
トイレ	2
サイネージ(情報発信板など)	1
緑、芝生、植物等	2
オブジェ	0
無回答	3
計	23



Q9. 空き地を使った取組を、今後より発展させるためのアイデアがあれば、教えてください

〈意見〉

- ・空き地を使用することのハードルを下げる
- ・無人販売 等

## (1) 交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

### 3) まちなか交流拠点の検討

#### ① 大学との連携

- 大学等と連携を行い当該エリアの**まちづくりをテーマとした特別講義の実施した。**
- **広場の実証実験との連携**を図り、実証実験の事務局として活用をおこなった。
- 商店街の空き店舗を活用した、まちなか交流拠点の実証実験を行っている。



#### 大学との連携：まちづくりをテーマとした特別講義

「沖縄市胡屋中央地区に求められる広場空間」  
について、皆さんの声をお聞かせください。

- ◆ 沖縄市の胡屋・中央地区では、多様な交通手段が集まる交通拠点（通称：バスタ）の整備に向けて、国・沖縄県・沖縄市が連携して検討を進めています。
- ◆ また、バスタの整備に合わせて、周辺の広場空間も一体的に整備し、地域住民や来訪者が交流できるような機能の導入も検討されています。
- ◆ この広場空間にどのような交流機能を持たせるかについて、**学生ならではの視点からアイデアやコンセプト案を考えてみましょう。**
- ◆ 上記以外の内容で、まちなかや交通拠点にこういう機能（施設）があったらいいな！というアイデアがあれば、併せてお聞かせください。
- ◆ これからの社会を担っていく皆さんの貴重な意見を、今後の施策に反映できればと考えていますので、ご協力をお願いします。



実施場所

## (1)交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

### 3) まちなか交流拠点の検討

#### ①大学との連携

##### 大学との連携 特別講義

まちづくりをテーマとした特別講義

参加者：42名 4班 琉球大学・名桜大学

内 容：テーマ1 まちなかで広場となり得る場所を地図に落とし込む

テーマ2 広場のコンセプトを考える

テーマ3 エリア一体での広場の在り方考える

- 4班に分けて、議論し発表した



## (1) 交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

### 3) まちなか交流拠点の検討

#### ① 大学との連携

##### 大学との連携 特別講義

[1班]

テーマ1 まちなかで広場となり得る場所を地図に落とし込む



#### テーマ2 広場のコンセプトを考える

・外国感・音楽・レトロなまちから新しいコザへの挑戦タイムトラベルを体感できるアンダーグラウンドコザへの扉

#### テーマ3 エリア一体での広場の在り方を考える

・商店街を抜けて広場へ (タイムトラベル) 広場を拠点にまち全体へ

あり方のキーワード	備考	あり方のキーワード	備考
新旧		時空ワープ商店街	タイムトラベル
時空チャンプル		音楽、ミュージック	商店街内にBGMをかけてより雰囲気を出す
グラデーション		イベント	人が公園を目指して来るようなイベント
真新しさ		ディープ	
集まる層が限定的	若年層が集まる店も必要	外国感	
レトロ	見るだけになっている	広場活気化	人が入ってくるようになる
誘導力	③④⑤を活性化させて商店街への誘導力を高める	情緒	

#### テーマ4 イベント (社会実験) を考える

・商店街の店舗によるポップストア (読谷の青祭をイメージ)

## (1)交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

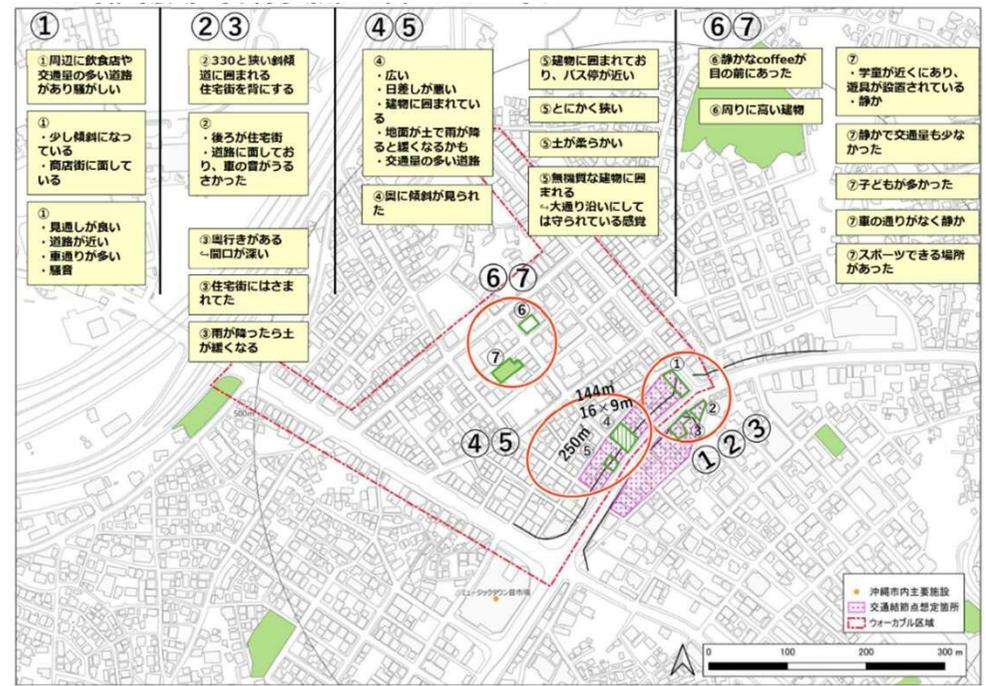
### 3) まちなか交流拠点の検討

#### ①大学との連携

#### 大学との連携 特別講義

[2班]

テーマ1 まちなかで広場となり得る場所を地図に落とし込む



#### テーマ2 広場のコンセプトを考える

- ①『ゴーゴー胡屋』 まちなかに行け！！人が集まる場所
- ②③『カムカム胡屋』 行ったら戻ってきてね
- ④⑤『よりみちパーク』 人の目を引く、落ち着く空間
- ⑥⑦『Child Town』 静かで子供が近くにいる。子供たちが落ち着いて遊べる空間

#### テーマ3 エリア一体での広場の在り方を考える

		コンセプト			
		①ゴーゴー胡屋	②③カムカム胡屋	④⑤よりみちパーク	⑥⑦Child Town
あり方	・宣伝で看板を置く社会的実験	・パブリックビューイングができる空間	・道路に面したギャラリー空間 写真、アートの展示 バス待ち時間	・子どもたちが落ち着いて遊べる空間	
	・シャッター街に昼にも利用できる店を作る	・昼だけの屋台	・屋台のような催しをする空間	・昆虫販売や展示をして子どもが集まれる場所にする	
	・屋台の設置	・休憩場所	・小さいステージのある空間 音楽のイベントなど	・「パリコレinコザ」 子どもたちが好きな服を自分で選べる 成長が早くてすぐ無駄になる	
			・一息つけるポケットパーク 建物側に日よけやベンチ 植栽	・「Running Of Children And Dogs」 rocad(ロケード) 子どもと犬に特化した広場 子どもに優しい空間でみんなが笑顔に	

#### テーマ4 イベント（社会実験）を考える

- ①ゴーゴー胡屋  
・昼だけの屋台  
・案内板設置
- ②③カムカム胡屋  
・パブリックビューイング  
・休憩場所
- ④⑤よりみちパーク  
・ギャラリー  
・ステージ  
・屋台  
・ポケットパーク
- ⑥⑦Child Town  
「子供が集まれるイベント」  
・ドッグラン  
・子ども服フリマ  
・昆虫(クワガタ) 販売



## (1)交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

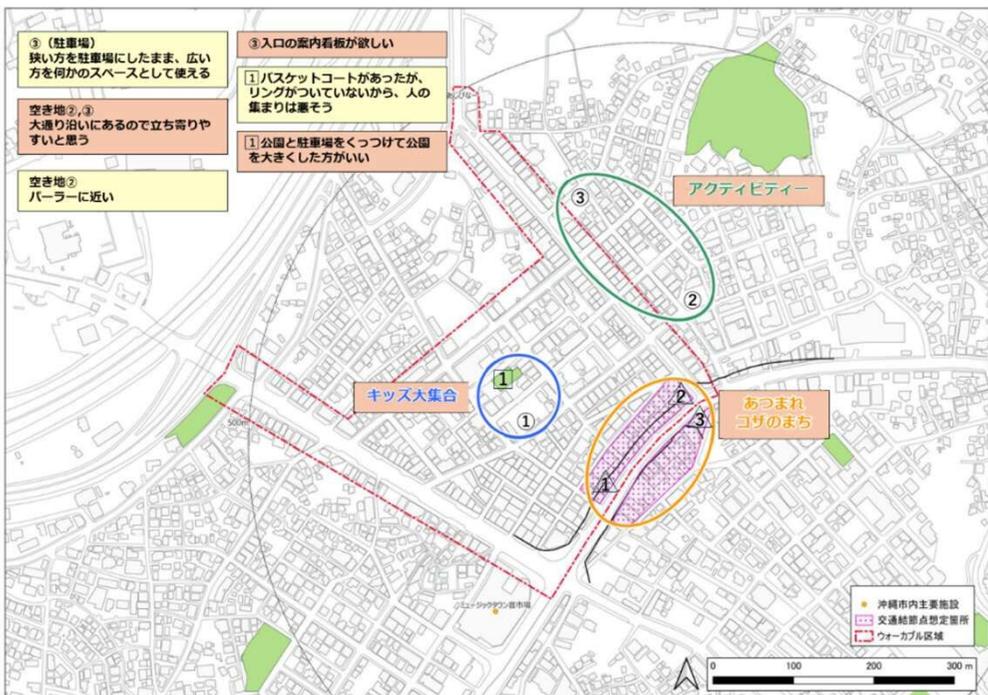
### 3) まちなか交流拠点の検討

#### ①大学との連携

##### 大学との連携 特別講義

[4班]

テーマ1 まちなかで広場となり得る場所を地図に落とし込む



#### テーマ2 広場のコンセプトを考える

- ・公園 1, ①(駐車場) 『キッズ大集合』
- ・②, ③(駐車場) 『アクティビティー』
- ・空き地△ 1 ~ △3 『あつまれコザのまち』

#### テーマ3 エリア一体での広場の在り方を考える

・コザのまちをゴールにしよう！



- ・昼の時間帯から若者が集まる場所づくり
- ・一日満喫
- ・中部でせきとめ

#### テーマ4 イベント(社会実験)を考える

・『キッズ大集合』 『アクティビティー』 『あつまれコザのまち』

コンセプト			
	キッズ大集合	アクティビティー	集まれコザのまち
社会実験	公園① ・スケボー場を作る	空き地② ・ウォーターボム ・サバゲー	△ 1.2.3 ・ビアガーデン ・屋台
	駐車場③ ・子どもがしゃべって涼しくなれるふわふわのアトラクション	駐車場① ・大きい壁を使って、ロッククライミングや、おしゃれな壁紙を作る	空き地① ・軍で売られているよいうな古着
		空き地① ・ビルクライミング施設	△ 3 ・沖縄市を見渡せる展望タワー
		・迷路を作る	空き地② ・クリスマスマーケット ・季節の催し
			駐車場② ・沖縄の家庭料理のイベントをする
			空き地△ 2 ・パークアベニューの入り口 ・象徴となるもの
			空き地① ・農家さんたちの青果祭を開く
			・商店街にスイーツ専門店 ・プリクラ ・カーシアター

## (1)交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

### 3) まちなか交流拠点の検討

#### ②関係者ヒアリングの実施

- まちなか交流拠点に関わることが想定される官民学それぞれキーマンとなる関係者へヒアリングを実施した。

関係者（案）	ヒアリング内容（案）
<b>琉球大学</b> <b>地域連携推進課</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域包括協定を活かした大学との連携手法について調整                      （※2018年に沖縄市と琉球大学で地域包括協定締結）</li> </ul>
<b>コザ商店街連合会</b> <b>イドムス</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ②コンセプトの検討、③実証実験の実施にあたり、地域のニーズ把握、実施体制の構築、運営手法等の調整</li> </ul>
<b>コザまち社中</b>	
<b>沖縄市 経済文化部</b> <b>商工振興課</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ②コンセプトの検討、③実証実験の実施にあたり、行政側のニーズ把握、実施体制の構築、運営手法等の調整、助言等</li> </ul>
<b>沖縄総合事務局 開発建設部</b> <b>南部国道事務所</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 残地（国道用地）の活用に関する調整</li> </ul>
<b>東京大学 羽藤教授</b> <b>（地域デザイン検討部会長）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ②コンセプトの検討、③実証実験の実施にあたり、全国の知見を活かした助言</li> </ul>

ヒアリング済み

- コザまち社中
- センター自治会
- 一番街商店街青年会
- ももやま子ども食堂

ヒアリング予定

- こてらす（翁長有希）（日程調整中）  
 フリースクール運営・子育て支援
- 税理士（元NPO）（1/30 11：00）

そのほか

- 沖縄市ふれあいのまちづくり推進事業  
 小地域ネットワーク研究会（13：30）

# 2. 令和7年度の取組み内容

## (1) 交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

### 3) まちなか交流拠点の検討

#### ③ 実証実験の実施

##### まちなか交流拠点の目的

- バスタ整備や周辺のまちづくりに関する情報発信を行い、多様な意見を収集したい。
- 多様な主体同士のつながりを活かした協働まちづくりの推進するため、人と人とのつながり方を設計し、地域特性を把握する。

##### まちなか交流拠点の運営

###### [一番街商店街の空き店舗]

開場時間：13時～16時

展示方法：展示パネル・模型

瓦版（アンケート含む）

立ち寄りやすい工夫：イスと机

運営：有人運営

週1日で半日を有人運営でおこなう

中央建設コンサル・沖縄市：週1日

営業日は金曜日とする

瓦版（アンケート有り）を配布

実施期間：令和8年1月15日～令和8年3月15日



##### まちとの連携

###### [沖縄市青年フォーラム2026]

テーマ「胡屋のまちにバスターミナル!? 交通拠点整備基本構想について学ぼう!!」

場所：BCコザ(旧コリンザ)1階  
まなびの部屋

(アンケート含む)

対象：沖縄市在住・在勤・在学  
(概ね10代～30代)

日時：令和8年2月1日  
13時～16時

沖縄市青年フォーラム（案）

1. フォーラムを開催する目的  
 沖縄市がどのような高度を行い、今後どう発展していくか青年に知る機会を奪え、それについて、自分の意見を述べ、市への関心を持ってもらうことが目的。

2. テーマ「胡屋のまちにバスターミナル!? 交通拠点整備基本構想について学ぼう!!」  
 交通拠点整備基本構想について、青年に知る機会を奪え、胡屋のまちにバスターミナルが建設されることについて、自由に意見を述べよう。

3. テーマの決定理由  
 沖縄市青年に協議会とのテーマ決めの際、バスターミナルが建設されることでのようなまちに生まれ変わるのか、いつ完成するのかなど、バスターミナル建設に高い関心があったため、青年に自分たちのまちの取り組みについて考えてもらい、意見を述べようとした。

○開催日：令和8年2月1日（日） 12時30分～16時  
 ○場 所：BCコザ（旧コリンザ）1階 まなびの部屋

【フォーラムの流れ】

第1部 交通拠点整備基本構想について 30分程度  
 ○市内散策（胡屋～一番街周辺）30分  
 ○概要説明 30分程度  
 ・交通拠点整備基本構想（バスターミナル建設等）の目的及び概要  
 ・市の現状の取り組み  
 ・バスターミナルの建設の進捗の状況  
 ・バスターミナルの今後の展開  
 ・バスターミナル建設のメリット  
 ・バスターミナル建設にかかる地味町町の参考事例  
 ・事業の課題  
 ・市の取り組みに対する意見を課題を解決するための案を第2部で考えてみる。

第2部 シェアリング（グループディスカッション） 60分程度  
 内 容：数グループに分かれて、テーマ毎に意見を交換し合い、最終的にはグループでまとめた意見を所定の用紙にまとめる。

第3部 グループ発表 30分程度  
 内 容：第2部で話し合った内容をグループ毎に発表します。  
 1グループ 3～4分程度

## (1)交通拠点まちづくりに向けた連携施策の検討・推進

### 4) 駐車場機能の検討

- 胡屋・中央地区におけるの駐車機能を把握し、バスタ周辺の駐車機能を整理した。
- 調査範囲を、交通結節点より300M以内、300～800M毎に整理した。
- 調査時間での駐車台数（平日昼、イベント休日昼、イベント休日夜）を把握し利用の仕方を検討する。



配置図

駐車台数	
1834台 (内 月極	782台)
	(内 時間貸1052台)
※身障者用駐車場	14台
バイク	6台

平日昼	平日昼 (時間貸)
841台/1834	473台/1052台
<b>駐車率 45.86%</b>	<b>駐車率 44.96%</b>

駐車台数300M以内	
1108台 (内 月極	460台)
	(内 時間貸 648台)
※身障者用駐車場	14台
バイク	5台

イベント昼	イベント休日昼 (時間貸)
720台/1834	332台/1052台
<b>駐車率 39.26%</b>	<b>駐車率 31.56%</b>

駐車台数300～800M	
720台 (内 月極	322台)
	(内 時間貸 404台)
※身障者用駐車場	0台
バイク	1台

イベント夜	イベント休日夜 (時間貸)
914台/1834	653台/1052台
<b>駐車率 49.85%</b>	<b>駐車率 62.11%</b>

## (2) 機運醸成及び合意形成手法の検討・実施

### 1) 講演会 2) ワークショップ

**「まち歩き」「講演会」「ワークショップ」を一体的に実施した。**

**実施日 令和7年9月27日 (土)**

### プログラム

#### まち歩き

場所：ウォーカブルエリア

時間：13:00～14:20

#### 講演会

場所：Lagoon Koza

時間：14:00～15:45

#### ワークショップ

場所：Lagoon Koza

時間：15:55～17:00



**昼間の顔となる  
広場を考える  
まちあるきワークショップ**

現在、沖縄市では中心市街地活性化や胡屋・中央地区のバスターミナル整備に向けた取組を進めています。居心地がよく、誰もが楽しめるまちづくりについて一緒にコザの昼の顔をつくりませんか？

開催日 令和7年  
**9月27日(土)**

時間 13:30～17:00

場所 Lagoon KOZA  
一番街商店街

お申込み QRはこちらから  
FAXでのお申込みは裏面へ

講師 山下裕子氏  
ひと・ネットワーククリエイター/  
眺めニスト

定員 まちあるき・講演会|定員40名程度  
ワークショップ|定員25名程度

地図

プログラム

- まちあるき 13:30～
  - ・開会のあいさつ
  - ・まちあるき (Lagoon KOZA 発)
- 講演会 14:30～
  - ・交通拠点まちづくりについての取組状況説明
  - ・講演会  
題名/め：昼間の顔となる広場づくり  
講師：山下裕子氏
  - ・質疑応答
- ワークショップ 15:55～
  - ・意見交換 (グループワーク)
  - ・発表
- 閉会 17:00
  - ・開会のあいさつ

主催：沖縄市 共催：沖縄市中心市街地活性化協議会 実行委員会：(株)中央建設コンサルタント・(株)URリンケージ  
講演会に関するお問い合わせ：株式会社URリンケージ 大城 浩司 TEL 098-860-9677 E-mail / ohshiro-n@urlik.co.jp  
業務に関するお問い合わせ：沖縄市 建設部 都市整備課 TEL 098-939-1212 (内線 2519)



**昼間の顔となる広場づくり**

講師 山下裕子氏  
ひと・ネットワーククリエイター/  
眺めニスト

プロフィール  
2007年に開業した富山市まちなか賑わい広場「グランドプラザ」のスタッフを経て、2014年から「ひと・ネットワーククリエイター」として活動開始。地域の余地を「用がなくても日常的にそこに行こう」と感じられるような機運醸成づくりの際に、地域の伴走者の立ち位置で活動中。2023年から「アートと都市と公共空間研究会」メンバー。著書に『にきわいの場 富山グランドプラザ—稼働率100%の公共空間のつくり方』(学芸出版社)、『コンパクトシティのアーバニズム』(共著・東京大学出版会)、『生きた景観マネジメント』(共著・鹿島出版会)

宛先 株式会社 URリンケージ

FAX 098-860-9678

申込書

参加内容 ※希望する参加内容を○でお読みください。

1. 全て参加	2. まちあるき、講演会のみ
---------	----------------

ご参加者住所

ご参加者氏名(本人)

ご参加者年齢

お勤め先(通学先) ※社名、学校名を記載

ご連絡先

TEL FAX

【高校生以下回答必須】保護者同意欄 ※保護者氏名をご記入ください。

本講演会・ワークショップに参加することについて、保護者の方から同意してもらいますようお願いいたします。下記へ保護者氏名をご記入いただいた方は保護者同意済みとみなします。

保護者氏名

※ご記入いただいた個人情報、講演会のみで使用し、第三者に提供することはありません。  
※定員に達した場合は、申し込みを締め切らせていただきます。

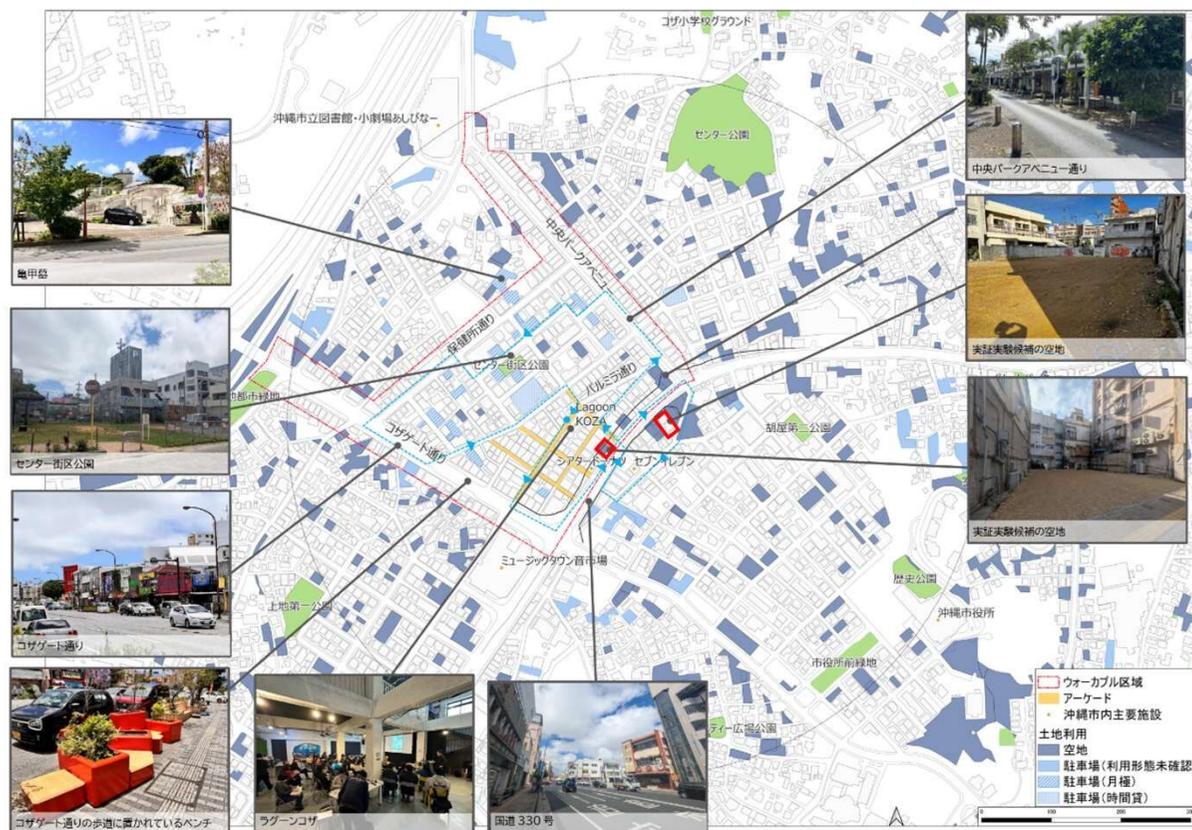
## (2)機運醸成及び合意形成手法の検討・実施

1) 講演会 2) ワークショップ

### 「まち歩き」

「コザのポテンシャルとなる場所や磨けばよくなると思う場所」の写真を撮りながら、まち歩きを実施。

参加者：20人      グループ：3グループ



まち歩きルート

## (2)機運醸成及び合意形成手法の検討・実施

### 1) 講演会 2) ワークショップ

#### 「講演会」

- まちなか広場づくりに地元の伴走者的立ち位置で活動을続け、様々な広場づくりにかかるアドバイザーとして実績・知見を有する山下裕子氏を講師として招き講演会を実施。
- 講演会での知見は、広場空間の必要な機能や空間の在り方を知る・探るために活用。

#### 講演会の内容

講師：山下裕子

(ひと・ネットワーククリエイター/眺めニスト)

参加者：20名

地元住民、商店街関係者等が参加

内容：昼間の顔となる広場づくりと題して、  
コザにふさわしい広場空間やその使い方等について講演



## (2)機運醸成及び合意形成手法の検討・実施

### 1) 講演会 2) ワークショップ

#### 「ワークショップ」

#### ワークショップの内容

参加者：11名 3グループ 地元住民、商店街関係者等が参加

内 容：①毎日バスターミナルに行きたくするために必要な機能とは？

②バスターミナルに併設する広場で自身の使い方とは？

③週1回程度、出かけたくなる場づくりのための実証実験において自らがやりたいことは？

- 3グループに分けて、議論し発表した



# 2. 令和7年度の取組み内容

## (2) 機運醸成及び合意形成手法の検討・実施

### 1) 講演会 2) ワークショップ

「ワークショップ」で議論した内容を、6つの分類で整理した

	A居心地のいい滞在	B交流	C学び・仕事	D食・買い物	E創作・表現	F運動・健康	Gアクセス	その他
①		<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業施設(映画館等)</li> <li>・ゲームセンター</li> <li>・砂場(遊び場)</li> <li>・ボルダリング</li> <li>・自由に描ける壁</li> <li>・パブリックビューイング</li> <li>・ライブステージ/・遊具</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議室(安い)</li> <li>・勉強ができる空間</li> <li>・作業スペース (wi-fi・電源あり)</li> <li>・自習・英会話</li> <li>・ディープコザガイド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カフェ/・パン屋/</li> <li>・スイーツ屋</li> <li>・移動販売 (キッチンカー)</li> <li>・昼からBAR</li> <li>・フードコート</li> <li>・無印良品・日用品</li> <li>・スーパー/・食堂</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きい鏡 (ダンス練習)</li> <li>・アーバンスポーツ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィットネス</li> <li>・バスケットコート</li> <li>・フットサル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場</li> <li>・学校が近い</li> <li>・市役所までの道が明るい</li> <li>・駐車場/・LUUP</li> <li>・バスが時間通り</li> <li>・レンタサイクル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・でっかい水槽</li> <li>・4K大型ビジョン</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カフェ併設広場</li> <li>・噴水(水の音)</li> <li>・寝転がる/人を眺める</li> <li>・友人とお喋り</li> <li>・ポーッとバスを見る</li> <li>・読書/・ユンタク</li> <li>・ゴロゴロする</li> <li>・植物を育てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由に描ける壁</li> <li>・パブリックビューイング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PC使って仕事</li> <li>・外国人による文化紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マルシェ開催</li> <li>・キッチンカー</li> <li>・ビアフェス</li> <li>・フリマ/・ランチ</li> <li>・フリーコーヒー</li> <li>・お弁当</li> <li>・ピクニック</li> <li>・毎日PopUp!</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽イベント</li> <li>・アートイベント</li> <li>・ダンスイベント</li> <li>・エイサーイベント</li> <li>・展示会</li> <li>・地元の子どもたちの演奏</li> <li>・絵を描く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の運動 (ランニング)</li> <li>・ラジオ体操</li> <li>・ヨガ</li> <li>・レンタサイクル</li> <li>・バスケ</li> <li>・歌う/・踊る/・走る</li> </ul>	—	—
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カフェ併設広場</li> <li>・噴水などの水が流れる場所/・寝転がる</li> <li>・友人とのお喋り</li> <li>・バスをポーッと見る</li> <li>・読書・本を読みに行く</li> <li>・植物を育てる</li> <li>・青空映画館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイントカード導入</li> <li>・アベニュー等を歩行天国にしてイベント</li> <li>・綱引き大会</li> <li>・TESIOマルシェ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PC使って仕事</li> <li>・外国人による料理等文化紹介</li> <li>・勉強する場所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マルシェ開催</li> <li>・キッチンカー</li> <li>・ビアフェス/・フリマ</li> <li>・お弁当屋さん</li> <li>・ピクニック</li> <li>・立ち食いラーメン</li> <li>・フリーコーヒー</li> <li>・出張お弁当屋</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽/アート/ダンス /エイサーイベント</li> <li>・展示会(年3回)</li> <li>・地元の子どもたちによる演奏</li> <li>・ダンス/場所</li> <li>・野外ライブ(学生)</li> <li>・解体前の建物でパイント</li> <li>・拾ったゴミでオブジェ作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の運動</li> <li>・ラジオ体操</li> <li>・レンタサイクル</li> <li>・スポーツの場所</li> <li>・バスケットリンク</li> <li>・バスケ1on1大会</li> <li>・ウォークラリー</li> <li>・アーケードでのスポーツイベント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・列車で親子散策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近未来的な街だけどころタレトロ</li> <li>・毎週増えているごみ箱</li> <li>・ベンチ増設</li> <li>・お米づくり</li> </ul>

## (2)機運醸成及び合意形成手法の検討・実施

### 3) 住民等意向調査

#### オープンハウスの実施概要

- 実施目的：沖縄市交通拠点まちづくりの推進に向け、胡屋・中央地区に来訪する方々からのご意見をお聞きするため、「交通拠点まちづくりに関する住民意向調査（オープンハウス）」を実施
- 実施期間：11/1～11/22
- 実施方法：下記の実施場所でのオープンハウスと期間中にWEBアンケートを実施

#### オープンハウスの実施場所・実施日及び実施時間

実施場所	実施日	実施時間
①イオン名護店	11/1土	11時00分～14時00分
②イオンライカム	11/2日	11時00分～14時00分
③北谷イオン	11/8土	11時00分～14時00分
④沖縄市役所	11/10月	11時00分～14時00分
⑤BCコザ	11/11火	10時00分～15時00分
⑥沖縄アリーナ（リゾテック）	11/13木	10時00分～17時00分
	11/14金	10時00分～17時00分
⑦沖縄アリーナ（キングス）	11/15土	16時00分～18時00分
⑧こどもの国	11/16日	11時00分～14時00分
⑨ミュージックタウン	11/17月	11時00分～14時00分
⑩商店街	11/22土	10時00分～17時30分
⑪ミュージックタウン（国際カーニバル）	11/22土	10時00分～17時30分



リゾテックでの実施風景



こどもの国での実施風景

## (2) 機運醸成及び合意形成手法の検討・実施

### 3) 住民等意向調査

#### オープンハウスに使用したパネル

- オープンハウスでは、交通拠点の整備に関する情報提供、交通拠点の整備によるライフスタイルの変化、全国各地で導入されているモビリティサービスの紹介といった内容でパネルを掲示し、来訪者からご意見伺った。(パネルは全部で11枚で構成)

### 日常の移動について、みなさまのご意見をお聞かせください！

～みんなで考えよう 胡屋・中央地区の交通の未来～

【趣旨】

- 沖縄市では、胡屋・中央地区において、交通テーマルを活用し、誰もが快適に移動しやすい都市の実現、中心市街地の活性化、そして本島中部圏域全体の振興につながる交通拠点づくりを進めています。
- この取り組みは、国・県・関係機関、そして地域の皆さまと共に、50年先の未来を見据えたまちづくりの一環です。より良いまちを実現するために、皆さまのご意見をぜひお聞かせください。

Webアンケートからもご意見を提出いただけます。ご協力よろしくお願いいたします。

沖縄市 OKINAWA CITY 国際文化観光都市

交通拠点の整備に関する情報提供

### 交通拠点の整備を検討しています

・沖縄市では、令和6年6月に「沖縄市交通拠点整備基本構想」を策定しました。誰もが快適に移動しやすい交通体系の構築を目指して、交通拠点の整備に向けて取り組んでいます。

**交通拠点整備基本構想(案)**

【整備のための方向性】

- 【整備】K.O.Z.Aのみならず、活かに育ちたまち
- 【整備】K.O.Z.Aのみならず、活かに育ちたまち
- 【整備】K.O.Z.Aのみならず、活かに育ちたまち

【整備の方向性】

- 胡屋・中央地区を中心とした範囲では、交通テーマルを中心に、周辺の主要施設を結び、回遊性を向上させます。
- 広域では、交通テーマルを中心に、中部都市圏や近隣都市圏、北部町村等と結びます。

交通拠点の整備によるライフスタイルの変化

### 将来、胡屋・中央地区が変わったら、移動の仕方はどうなるだろう？

～若者の場合～

【現在】

- ミュージックタウンのフェス、野球、ゴルフ、ゴルフのホームゲーム、本日はお酒飲みながら楽しみたい。
- でも車で来てるから、いつも我慢...
- コザで二次会もしたいのに、帰りの足がない。
- 夜遅くまで遊んだあと、安心して帰れる方法があれば最高なのに。
- タクシーは高いし、バスは終発過ぎてる...

【目指す将来】

- キングス観戦後、仲間とコザで勝利の余韻にひたる！
- 多少遅くなくても、「夜間バス」で市外へ帰れる！

### 将来、わたしたちの移動を支えるモビリティサービスは何か必要だろう？！

■デマンド交通

- 乗客がスマホで予約すると、あらかじめ決められた乗降ポイントに車が来てくれるサービスです。
- バスのように乗降客や乗車ルートが固定。利用者の希望に合わせて運行します。

■グリーンスローモビリティ

- 約20km/h未満でゆっくり走る電動カートのような乗り物です。
- 「乗客」がやさしく、観光地や住宅地で安全に移動できます。

■シェアサイクル

- 専用のポートで自転車を借りて、別のポートに返せるサービスです。
- 電動アシスト付き自転車から電動バイクまで、利用者の希望に合わせて運行します。

■電動キックボード

- シェアサイクルと同様、専用のポートで電動キックボードを借りて、別のポートへ返せるサービスです。
- 指定ルートに便利で、まちの歩き回りに役立ちます。

■超小型モビリティ

- 乗客が1～2人のコンパクトな電動自動車を使用したシェアサービスです。
- アプリから予約予約、レンタルもでき、定められたステーションから自由にどこでも乗換、送迎が可能です。

■沖縄市ヨルバスの社会実験も実施しています！

- 胡屋・中央地区は、飲食店やライブハウスなどでもにぎわうエリアです。■は路線が夜間まで延長となり、夜間移動が容易になります。
- そこで、夜間が活躍する都市圏を核とする『ヨルバス』を運行する社会実験を実施しています。
- 社会実験では、回廊ルート(美園南・美園・西ルート)と(北谷・真光線・胡屋方面)を運行しています。

くわしくは、沖縄市ホームページでご確認ください！

新たなモビリティサービス紹介

## (2)機運醸成及び合意形成手法の検討・実施

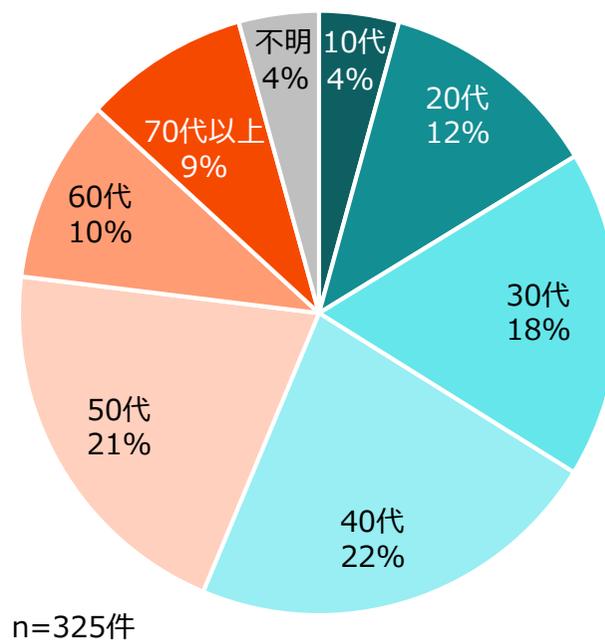
### 3) 住民等意向調査

#### オープンハウスの実施結果の概要①

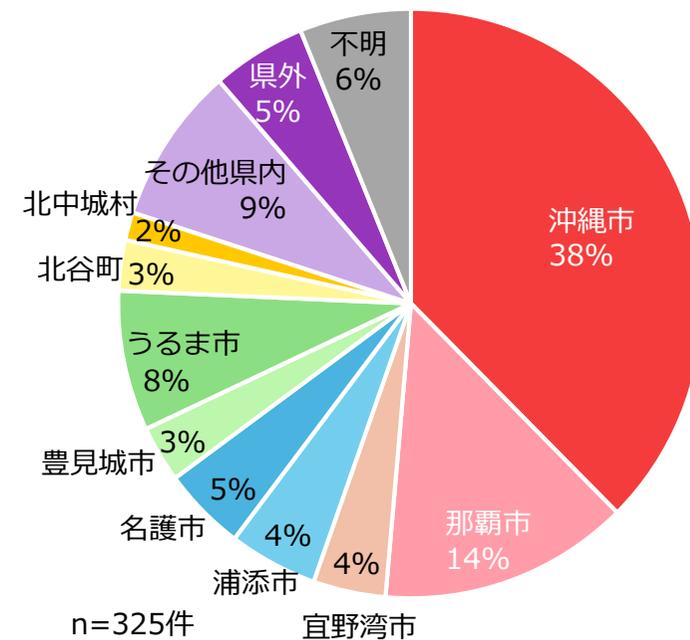
- 収集できた意見数は全体で325件で、うち30件がwebアンケートによる回答であった。
- 回答者の年齢は、幅広い年代から大きな偏りなく取得できている。
- 回答者の居住地は、沖縄市が約4割と最も多く、次いで那覇市が多い。

実施場所(実施日)	意見数
イオン名護(11/1土)	18
イオンライカム(11/2日)	19
北谷イオン(11/8土)	25
沖縄市役所(11/10月)	26
BCコザ(11/11火)	18
沖縄アリーナ(リゾテック) (11/13木~14金)	119
沖縄アリーナ(キングス) (11/15土)	10
こどもの国(11/16日)	21
ミュージックタウン(11/17月)	8
ゲート通り・商店街(11/22土)	31
ウェブ回答	30
総計	325

【年齢構成】



【居住地構成】



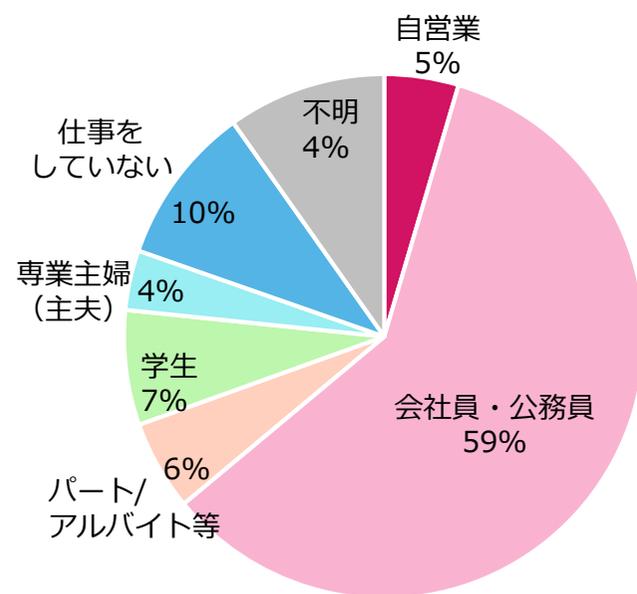
## (2)機運醸成及び合意形成手法の検討・実施

### 3) 住民等意向調査

#### オープンハウスの実施結果の概要②

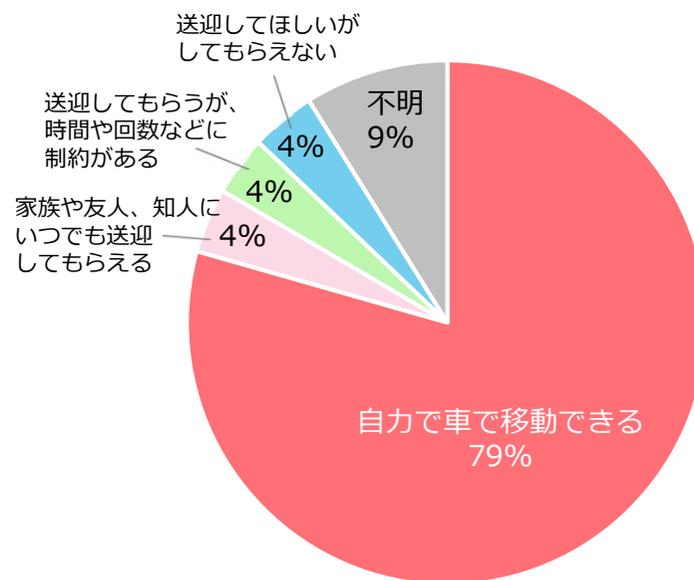
- 回答者の職業は、会社員・公務員が約6割を占める。
- 自動車の利用状況は「自力で車で移動できる」が約8割と大半を占める。
- 運転免許の保有状況も、約8割が「免許を持っていて、日頃運転している」と回答。

【職業】



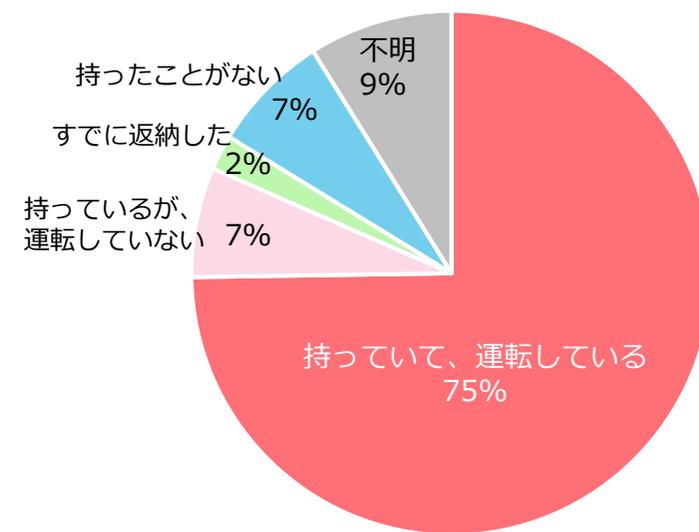
n=325件

【自動車の利用状況】



n=325件

【免許保有状況】



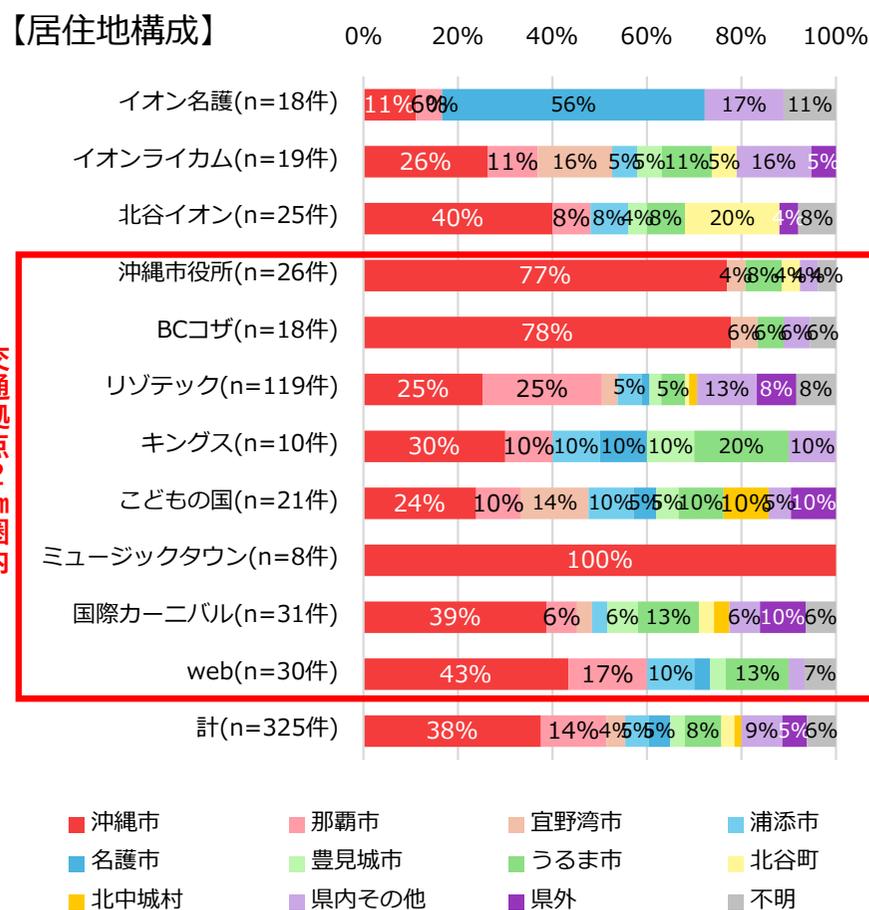
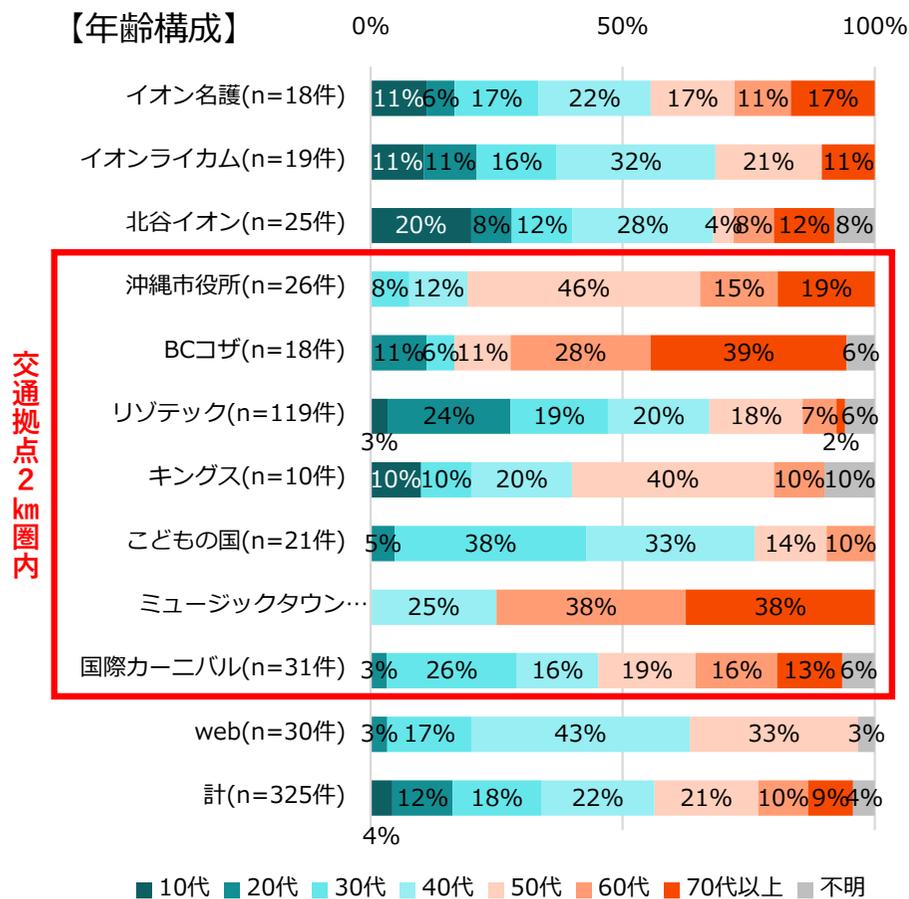
n=325件

## (2) 機運醸成及び合意形成手法の検討・実施

### 3) 住民等意向調査

#### オープンハウスの実施結果の概要③ 実施場所別の回答者の属性

- 交通拠点2km圏域の施設への来訪者の特徴として、沖縄市役所やBCコザ、ミュージックタウンの来訪者が沖縄市民かつ50歳以上の方々の来訪が多い状況であること、沖縄アリーナ（リゾテック、キングス）やこどもの国、イベント時の来訪者は若い方や市外の方が多くいる状況であることがわかった。

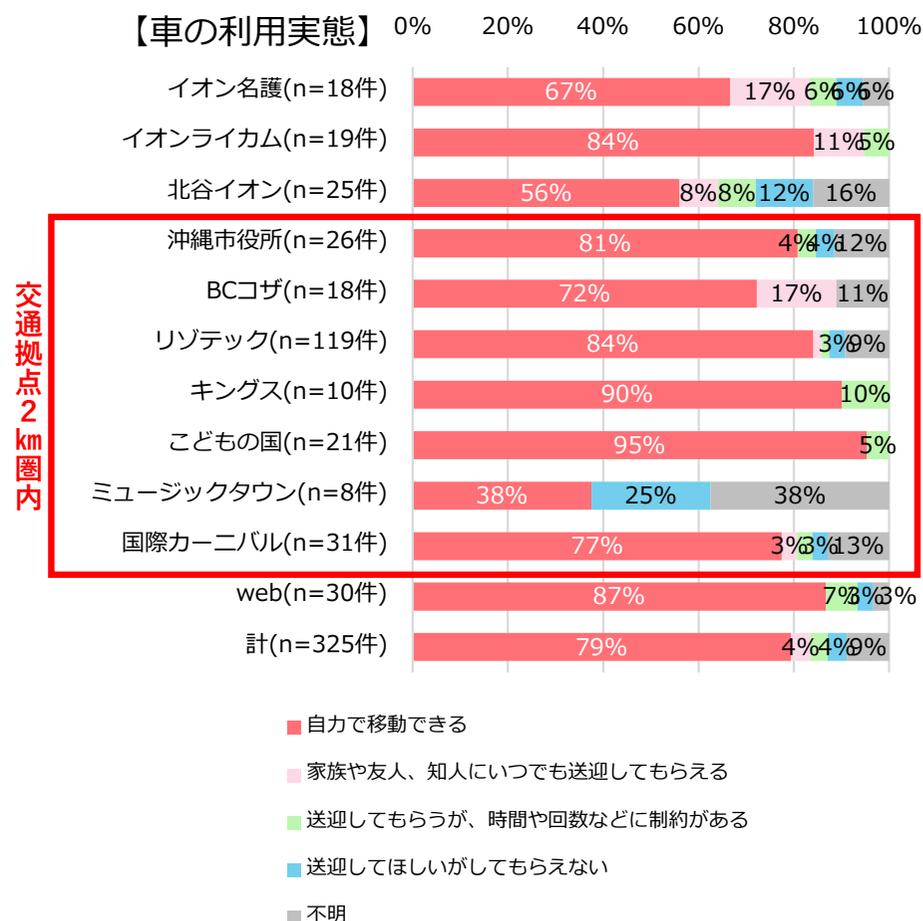
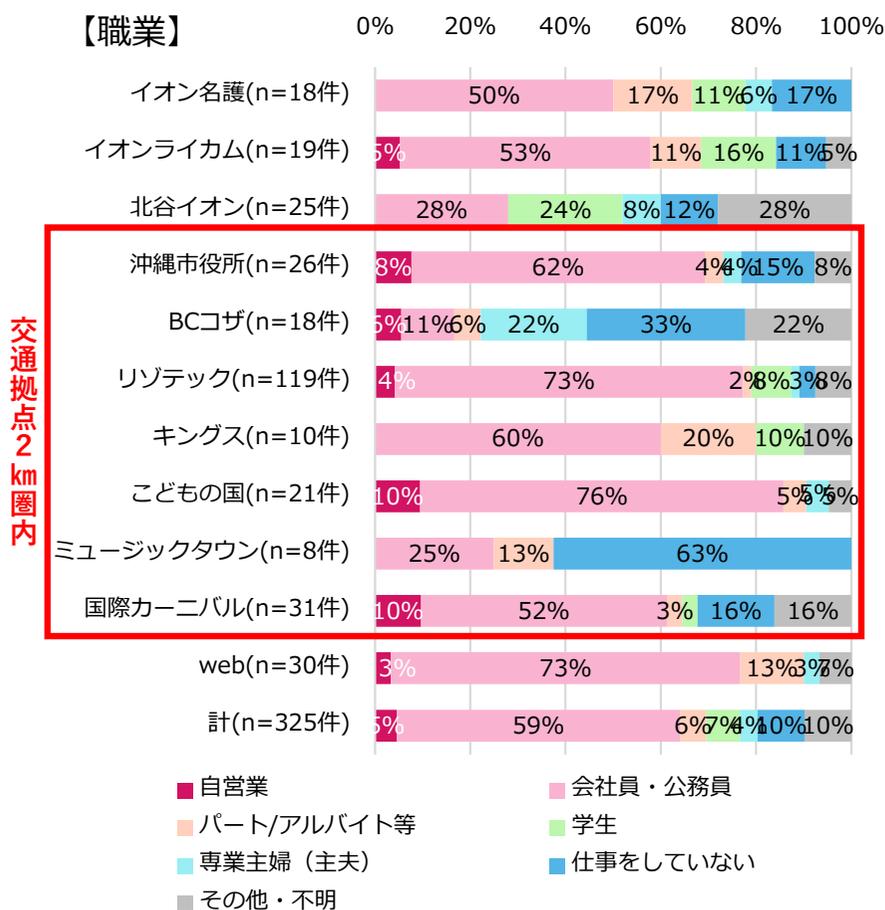


## (2) 機運醸成及び合意形成手法の検討・実施

### 3) 住民等意向調査

#### オープンハウスの実施結果の概要③ 実施場所別の回答者の属性

- 交通拠点2km圏域の施設への来訪者の特徴として、ミュージックタウンやBCコザの来訪者は、高齢者の割合が高いため会社員以外の方の割合が高い状況にあること、車の利用実態として、ミュージックタウンは、ほかの施設と比べると自力で移動できる人が少ない状況にあることがわかった。



# 2. 令和7年度の取組み内容

## (2) 機運醸成及び合意形成手法の検討・実施

### 3) 住民等意向調査

#### オープンハウスの実施結果の概要④ 回答者の意見

- ・ 移動に関する意見として、時間や行先、移動環境に関する意見をいただいた。
- ・ まちづくりに関する意見として、交通拠点周辺のまちづくりに期待する意見をいただいた。

#### ① 移動（時間）に関する意見（抜粋）

##### ■ 決まった時間に運行してほしい

- ・ バスは、時間通りに来ない時がある。
- ・ バスを利用したいが、バスが時間通りに来ない。本数が少ない。余裕をもって出発しても出勤時間に遅れることがある。帰りも時間がかかり、次の行動に影響する。

##### ■ 好きな時間に移動できるようにしてほしい

- ・ バスが本数・時間増えると良い
- ・ 行きたい時間にバスがなく、徒歩になってしまう。
- ・ 休日も飲んで帰れない。平日、飲み会の帰りのバスがない。
- ・ 渋滞が多く、いつ着くのか分からない。

#### ② 移動（行き先）に関する意見（抜粋）

##### ■ 色々な場所に行けるようにしたい

- ・ 南部に行きにくい
- ・ 本当是那覇や浦添などの会社に勤めたいが、バスだと行ける範囲に限られる。
- ・ 目的地まで直接行けるバス
- ・ 歳をとっても遠くに出かけたい
- ・ いつまで移動できるか不安

##### ■ 停めてすぐ目的地に行けるようになりたい（駐車場に関する意見）

- ・ どこも満車。沖縄市駐車場どこか分からない。
- ・ 沖縄市は駐車場が少ない。いつも車でいっぱいになっている。
- ・ 老朽化した建物を、駐車場にすれば良いのでは。
- ・ 沖縄市の大型施設は駐車場がほとんど満車になるのでどうにかして欲しい(イベント時)

#### ③ 移動（移動環境）に関する意見（抜粋）

##### ■ 誰もが使いやすいよう環境を整えてほしい

- ・ バス停に屋根がほしい
- ・ 待ち時間長いから快適に待てる環境を
- ・ ペビーカーでも使いやすく
- ・ 車内が揺れる
- ・ コインロッカー等ないから、荷物保管できる場所がほしい
- ・ 荷物運搬付きのサービスがあれば。空港から荷物重い
- ・ バス停の環境整備、屋根、待ち時間の改善

#### ④ まちづくりに関する意見（抜粋）

##### ■ 交通拠点周辺のまちづくりを良いものにしてほしい

- ・ 交通結節点だけではなく、街の中も移動しやすくしてほしい。
- ・ 中央パークアベニューや一番街の変化に期待したい。
- ・ 一番街が復興してくれると良い。
- ・ 街中に、バス停を多く作ってほしい。
- ・ コザを結節点として、名護・那覇・南城・北谷に路線をつなげてほしい。
- ・ 中心市街地内の移動のために、デマンド交通を導入してほしい。
- ・ バスタの構想と一緒にパークアベニューを盛り上げてほしい。
- ・ バスタ予定地の周辺の駐車場は、いつも混雑していて困っている。

## (2)機運醸成及び合意形成手法の検討・実施

### 3) 住民等意向調査

オープンハウスへの来訪者、回答者から頂いた意見は、地域公共交通計画や交通拠点まちづくり基本計画の検討に反映させる。

※なお、意見は整理中のため、現時点で検討に反映する必要がある事項を以下に示す。

#### ■ 地域公共交通計画の検討に反映

(回答者の属性)

- 沖縄市役所やBCコザ、ミュージックタウンの来訪者が沖縄市民かつ50歳以上の方々の来訪が多い状況であること、沖縄アリーナ(リゾテック、キングス) やこどもの国、イベント時の来訪者は若い方や市外の方が多き状況であることがわかった

(回答者からの意見)

- 移動に関する意見として、時間や行先、移動環境に関する意見をいただいた。

#### ■ 交通拠点まちづくり基本計画の検討に反映

(回答者の属性)

- 沖縄市役所やBCコザ、ミュージックタウンの来訪者が沖縄市民かつ50歳以上の方々の来訪が多い状況であること、沖縄アリーナ(リゾテック、キングス) やこどもの国、イベント時の来訪者は若い方や市外の方が多き状況であることがわかった

(回答者からの意見)

- 交通結節点だけではなく街の中も移動しやすくしてほしい、中央パークアベニューや一番街の変化に期待したい、バスタの構想と一緒にパークアベニューを盛り上げてほしい、などといった街づくりに関連する意見もいただいた。

## (3) その他

### ■ 夜間バス実証実験

- 令和7年11月から令和8年1月までの3か月間、毎週土曜日を対象に、23時に那覇ルート（宜野湾・浦添・那覇）及び西ルート（北谷・嘉手納・読谷方面）に運行する**夜間バスの無料実験を実施**した。

毎週土曜日 23時に運行      胡屋バス停発

**無料**

沖縄市を満喫

胡屋・那覇・西ルートを夜間運行

STEP 1

詳細を知る  
(公式 HP)



STEP 2

無料バスを  
予約する



STEP 3

胡屋行き路線  
を調べる



運行スケジュール

11月~1月の土曜日

2025年11月 11/1, 11/8, 11/15, 11/22, 11/29  
2025年12月 12/6, 12/13, 12/20, 12/27  
2026年1月 1/3, 1/10, 1/17, 1/24, 1/31

**那覇ルート (宜野湾・浦添・那覇)**

胡屋 ▶ 嘉数 (宜野湾) ▶ 大平 (浦添) ▶ おもろまち一丁目 (那覇市) ▶ 泊高橋 (那覇市) ▶ 県庁北口 (那覇市)

**西ルート (北谷・嘉手納・読谷)**

胡屋 ▶ 上勢頭 (北谷町) ▶ 森江 (北谷町) ▶ 美浜アメリカンビレッジ北口 (北谷町) ▶ 砂辺 (北谷町) ▶ 水釜 (嘉手納町) ▶ 嘉手納 (嘉手納町) ▶ 大湾 (読谷村) ▶ 伊良苗 (読谷村) ▶ 赤犬子宮前 (読谷村)

運行時刻

23:00

那覇ルート・西ルート / 各1便

① 那覇ルート(宜野湾・浦添・那覇)



② 西ルート (北谷・嘉手納・読谷方面)



令和7年度交通拠点におけるにぎわい創出社会実験業務  
問い合わせ先: 沖縄市 建設都市交通担当 098-939-1212 (内 2514) / CCC 沖縄合同会社 090-6101-3409 富田

# 2.令和7年度の取組み内容

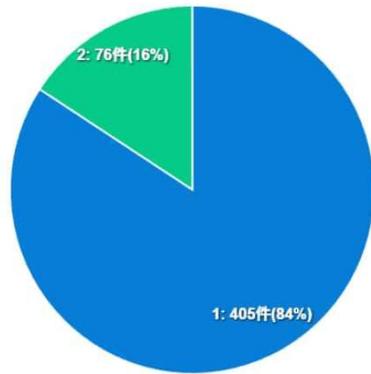
## (3)その他

### ■夜間バス実証実験

- 定員 那覇ルート45名 西ルート49名

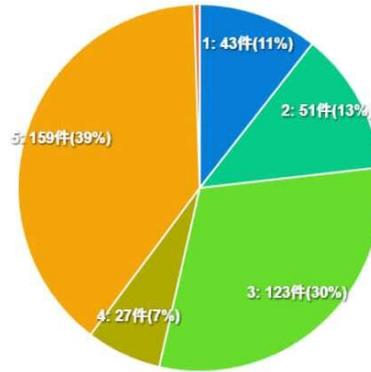
**速報（令和8年1月23日時点） 乗車率 60% イベント時の乗車率 80%**

利用するルート



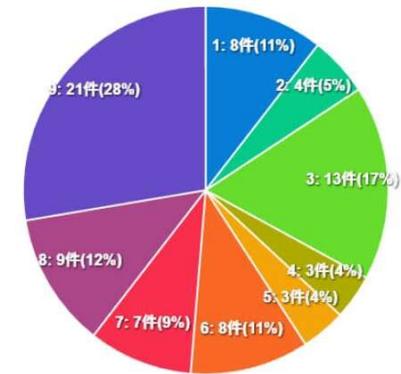
- 1. 那覇ルート（宜野湾、浦添、那覇）
- 2. 西ルート（北谷、嘉手納、読谷）

降車するバス停（那覇ルート）  
定員49名



- 1. 嘉数（宜野湾市）
- 2. 大平（浦添市）
- 3. おもろまち駅前（那覇市）
- 4. 泊高橋（那覇市）
- 5. 県庁北口（那覇市）
- 6. おもろまち一丁目（那覇市）

降車するバス停（西ルート）  
定員45名



- 1. 上勢頭（北谷町）
- 2. 桑江（北谷町）
- 3. 美浜アメリカンビレッジ北口（北谷町）
- 4. 砂辺（北谷町）
- 5. 水釜（嘉手納町）
- 6. 嘉手納（嘉手納町）
- 7. 大湾（読谷村）
- 8. 伊良皆（読谷村）
- 9. 赤犬子宮前（読谷村）

## (3) その他

### ■ 周知活動 1

- 沖縄市のホームページで、「交通結節点整備基本構想の公表について」、「沖縄市交通拠点まちづくり検討委員会について」、「実証実験」を掲載している

#### 胡屋・中央地区バスタプロジェクトについて

本市は、国や県、関係団体等と連携しながら、本市等における現状及び課題等を踏まえ、望ましい交通結節点の機能や配置における概要案や胡屋地区における交通・回遊を踏まえた交通拠点整備の検討、地域住民及び関係権利者等の合意形成や機運醸成を図るとともに、交通結節点及び周辺エリアの機能配置の検討、連携施策の検討を行っております。

#### バスタプロジェクトとは

『バスタプロジェクト』は、鉄道やバス、タクシーなど、多様な交通モードがつながる集約型の公共交通ターミナルを、官民連携で整備するプロジェクトです。MaaS・スマートシティとの連携、他の交通拠点との連携、新たなモビリティとの連携といった未来志向の取組や、防災・観光拠点としての機能強化等を推進します。

- [イメージバース \(PDF: 239KB\)](#) (イメージ案であり、決定したものではありません。)

#### 交通拠点基本整備基本構想の公表について

市では、国道330号沿道の胡屋・中央地区において、バスターミナル整備に向けたまちづくり構想を検討しております。まちなかの回遊性を高め、都市間の交流を促進し、中部圏域の交通拠点として、中心市街地の活性化、公共交通の活性化に繋がるまちづくり構想として、沖縄市交通拠点整備基本構想を策定しました。

- [沖縄市交通拠点整備基本構想](#)

#### 沖縄市交通拠点まちづくり検討委員会について

今後、この基本構想で位置付けております施策の実現に向け、沖縄市交通拠点まちづくり基本計画の検討に際して、学識経験者や地域関係団体や関係行政機関等で構成する「沖縄市交通拠点まちづくり検討委員会」を設置し、それぞれの立場のご意見を踏まえながら検討してまいります。

- [沖縄市交通拠点まちづくり検討委員会](#)

#### これまでの検討内容について

これまでの検討内容については、以下からご覧いただけます。

- [令和6年度 業務概要 \(PDF: 7.552KB\)](#)
- [令和5年度 業務概要 \(PDF: 11.659KB\)](#)
- [令和4年度 業務概要 \(PDF: 14.087KB\)](#)
- [令和3年度 業務概要 \(PDF: 15.245KB\)](#)
- [国道330号沿道 \(胡屋十字路～胡屋北交差点\) 沿道まちづくりについて](#)

#### お知らせ (イベント)

- [空き地からコザを作ろう！～マチガーきょてんづくり～ \(PDF: 1.450KB\)](#)  
日時：令和7年11月22日 (土曜日) 10時00分～18時00分  
令和7年11月23日 (日曜日) 10時00分～16時00分
- [昼間の顔となる広場を考える まちあるきワークショップ \(PDF: 2.533KB\)](#)  
日時：令和7年9月27日 (土曜日) 13時30分～17時00分
- [居心地が良いまちにするための7つのルール \(PDF: 1.188KB\)](#)  
日時：令和7年2月22日 (土曜日) 13時30分～17時00分
- [バスターミナル×KOZAのまち～バスタの未来～ \(講演会\) \(PDF: 1.083KB\)](#)  
日時：令和6年3月10日 (日曜日) 17時00分～19時00分
- [バスターミナル×KOZAのまち コザのすまやコザへの想い 教えてください！ \(アンケート調査\) \(PDF: 1.622KB\)](#)  
日時：令和5年11月25日 (土曜日) 10時00分～17時00分  
令和5年11月26日 (日曜日) 10時00分～17時00分
- [バスターミナル×KOZA 講演会～バスターミナルの可能性～ 人と地域の魅力をつなぐ“Local Hub”のつくり方 \(盛岡バスセンターの事例から\) \(PDF: 305KB\)](#)  
日時：令和5年1月24日 (火曜日) 19時00分～21時50分
- [バスターミナル×KOZAのまち～一緒に考えてみませんか～ \(PDF: 803KB\)](#)  
日時：令和4年9月20日 (火曜日) 19時00分～21時00分

#### 関連リンク

- [国土交通省 バスタプロジェクト -集約型公共交通ターミナルを全国展開- \(外部サイトへリンク\)](#)「国土交通省ウェブサイト」

#### お問い合わせ

建設部 都市整備室 都市交通担当  
〒904-8501 沖縄県沖縄市仲宗根町26番1号  
電話番号：098-939-1212

沖縄市役所 法人番号：5000020472115

開庁時間：午前8時30分から午後0時、午後1時から午後5時15分。(午後0時から午後1時の窓口対応について)

開庁日：土・日曜日、祝日、慰霊の日 (6月23日)、年末年始 (12月29日～1月3日)

住所：〒904-8501 沖縄県沖縄市仲宗根町26番1号

電話番号：098-939-1212

Copyright © Okinawa City. All Rights Reserved.

## (3)その他

### ■周知活動 2

- 沖縄市の広報紙では、「ヨルバス」を掲載している



[今月の表紙] 沖縄市瀬乃森大花火

#### 市政

- 7 財政の健全化判断比率等の公表
- 9 エイサー商品券
- 16 沖縄市を満喫 無料ヨルバス
- 17 新年祝賀会の案内
- スポーツ
- 2 沖縄市老人クラブ運動会
- 20 スタジアムナイトヨガ
- 20 親子スポーツ教室

#### 生活

- 18 特設人権相談所
- 19 HPVワクチン
- 19 帯状疱疹ワクチン
- 23 男の料理教室
- 24 省エネ・創エネ相談会

#### 文化

- 16 ミュージックパワー2025
- 25 沖縄市文化祭(展示部門)

#### 福祉

- 22 障がい者差別解消研修会
- 22 認知症の人と家族の会
- こども
- 19 親子あそび塾Kidsうんどう塾

[今月の市民 令和7年11月1日現在]  
 人 口… 141,748人  
 男 68,844人 女 72,904人  
 世帯数… 68,141世帯

### お知らせ

広報おきなわ 2025(令和7年)12月号



### 沖縄市を満喫 無料ヨルバス

交通環境改善による「胡屋・中央地区および周辺のにぎわい創出」や胡屋・中央地区を「仮想バスタ」と想定した都市間移動の交通サービスの可能性を検証することを目的に、胡屋バス停から夜間バス「ヨルバス」を運行します。市外にお住まいのご親戚やご友人、職場の仲間などを呼んで、コザの夜を満喫してみてください。

■運行スケジュール

日時：令和8年1月までの毎週土曜日(詳細はホームページ)

場所：胡屋バス停(那覇向け)

運航時刻：午後11時

那覇ルート・西ルート/各1便



図 都市整備室 都市交通担当(内線2519)